

2017 年度
協力隊活動現地
「視察の旅」

報告書



一般社団法人 協力隊を育てる会

はじめに

2017年度の「協力隊活動現地視察の旅」は、2018年3月に帰国したセネガルコースをもちまして終了いたしました。「視察の旅」の実施に際し、ご協力いただきました独立行政法人 国際協力機構（JICA）青年海外協力隊事務局、現地での受け入れ態勢を整え、温かくご家族の方を迎えていただきました JICA 在外事務所の関係者の皆さまに、心からお礼を申し上げます。

「視察の旅」は、昭和 61 年に協力隊事業発足 20 周年の記念事業として、青年海外協力隊事務局より依頼を受けて開始しました。以来、多くの方にご参加いただいております。今年度は 10 ヶ国でツアーを実施、77 名の方が参加いたしました。

家族交流会で出会ったご家族同士で誘い合ったり、隊員同士で声をかけ合ったり、と多くの方に参加いただきました。参加者からいただいたアンケートや感想文では、“異国で明るくたくましく活動する隊員の姿に感動した” “観光旅行ではなく「視察の旅」だったからこそ、様々なことを考え感じる旅だった” という意見をいただき、改めて「視察の旅」の意義を感じているところです。また、日本で抱えていた心配が、現地に行き、生活を体験することで多少解消したという意見も多く、まさに「百聞は一見に如かず」の旅行と言えるかと思えます。参加者の皆さまには、様々な場を通じてご自身の経験を多くの方に伝えていただけるものと確信しております。

当会は、民間の立場から協力隊事業を応援する団体として、一人でも多くの方に協力隊員の活動現場や開発途上国を視察していただき、JICA ボランティア事業の意義を含め、その貴重な経験を日本社会に広めていただきたいと考えております。

関係者の皆さまにおかれましては、今後ともご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

一般社団法人 協力隊を育てる会
事務局長 大石精一

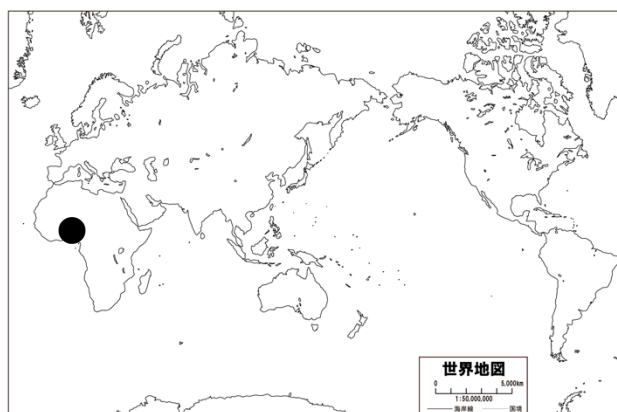
目次

| | | | |
|------------|---------|---|-------|
| ◆はじめに | | | 1 |
| ◆目次 | | | 2 |
| ◆コース一覧 | | | 3 |
| ◆参加者感想文 | | | 4~42 |
| ■アフリカ | ◇ガーナ | 篠原 和代さん 桐野 美津代さん | |
| | ◇カメルーン | 加藤 昌利さん 北島 洋子さん 白川 由季子さん 廣木 玲子さん | |
| | ◇マラウイ | 木原 麻希さん 古川 由布子さん | |
| | ◇ナミビア | 吉野 恵さん 鈴木 信男さん | |
| | ◇エチオピア | 横尾 秀樹さん 西田 智子さん | |
| | ◇ベナン | 及川 昌子さん 後藤 路子さん 竹花 裕子さん | |
| | ◇セネガル | 魚住 悦子さん 渡邊 末吉さん | |
| ■中南米 | ◇ホンジュラス | 遠藤 あけみさん 高山 寿美子さん | |
| | ◇パラグアイ | 菊池 初美さん | |
| | ◇ニカラグア | 黒川 和子さん | |
| ◆2017 年度実績 | | | 43~47 |
| ◆年度別実績 | | | 48~50 |

コース一覧

| No. | コース | 国名 | 旅行期間 | 申込 | 催行 |
|-----|--------|--------|------------|----|----|
| 1 | ウガンダ | ウガンダ | 8/1-8/10 | 4 | × |
| 2 | 南アフリカ① | モザンビーク | 9/12-9/22 | 1 | × |
| | | 南アフリカ | 〃 | — | × |
| 3 | ボツワナ | ボツワナ | 10/4-13 | — | × |
| 4 | ルワンダ | ルワンダ | 10/18-27 | 2 | × |
| 5 | アジア | ネパール | 10/31-11/7 | 2 | × |
| | | ラオス | 〃 | 2 | × |
| 6 | 西アフリカ | ガーナ | 11/8-17 | 4 | ○ |
| | | カメルーン | 〃 | 7 | ○ |
| | | ガボン | 〃 | | × |
| 7 | 中南米 | コスタリカ | 11/15-24 | | × |
| | | ホンジュラス | 〃 | 5 | ○ |
| | | グアテマラ | 〃 | 1 | × |
| | | ボリビア | 〃 | 1 | × |
| | | パラグアイ | 〃 | 5 | ○ |
| 8 | 南アフリカ③ | ナミビア | 11/22-12/2 | 3 | ○ |
| | | マラウイ | 〃 | 10 | ○ |
| | | ジンバブエ | 〃 | | × |
| 9 | タンザニア | タンザニア | 11/26-12/5 | 4 | × |
| 10 | エチオピア | エチオピア | 11/29-12/8 | 7 | ○ |
| 11 | ザンビア | ザンビア | 12/5-14 | 4 | × |
| 12 | ニカラグア | ニカラグア | 2/7-16 | 9 | ○ |
| 13 | ベナン | ベナン | 2/18-25 | 18 | ○ |
| 14 | セネガル | セネガル | 2/20-3/1 | 9 | ○ |

ガーナ 11月8日～11月17日



2017ガーナコース日程

| | 月日 | 都市 | 発着時間 | 所要時間 | 交通機関 | スケジュール |
|----|---------------|-------------------------------|--------------------------------|-------------------|----------------|---|
| 1 | 11月8日 (水) | <事前研修会> 成田空港にて 東京 (成田) 発 | 17:00～18:30 20:10 | 16時間50分 | ET673 | 空路、アディスアベバへ |
| 2 | 11月9日 (木) | アディスアベバ着 アディスアベバ発 アクラ 着 | 7:00 8:30 11:10 14:00 | 5時間40分 | ET921 | 空路、アクラへ ○JICA事務所訪問 <アクラ泊> |
| 3 | 11月10日 (金) | ガーナ各地 | | | | 自由行動、隊員活動視察 |
| ～ | ～ | | | | | |
| 7 | 11月14日 (火) | | | | | |
| 8 | 11月15日 (水) | アクラ集合 | 14:00 18:30 | | | ○日本大使館訪問 ○懇親会 <アクラ泊> |
| 9 | 11月16日 (木) | アクラ 発 アディスアベバ着 アディスアベバ発 | 12:10 20:50 22:20 | 5時間40分 15時間00分 | ET920 ET672 | 空路、アディスアベバへ 空路、東京へ |
| 10 | 11月17日 (金) | 東京 (成田) 着 | 19:20 | | | 着後、通関手続き。その後解散 |

ET：エチオピア航空

飛行機の発着時間などスケジュールが変更になる場合があります

ガーナの思い出 ～「視察の旅」に参加して～

篠原 和代さん：篠原 優隊員（ガーナ／2016-2／青少年活動）のお母様

ガーナ。荷物を送っても3ヶ月も4ヶ月も届かない遠い国。ガイドブックもない国で働いてもうすぐ1年を迎える娘。「どんなところで暮らし働いているの？LINEのテレビ電話では元気そうだけど、無理をしていない？」色々な思いが交差しているところに「視察の旅」の案内が届き、思い切って夫婦で行くことにしました。

黄熱病とA型肝炎の予防接種を受け、マラリアの予防薬と防虫スプレーを携帯し、娘の喜ぶ顔を思い浮かべながら、賞味期限の短い食べ物・生活用品・頼まれた物品をスーツケースに詰め、いよいよ出発です。

ガーナへの往復は事前説明会で紹介された桐野さん御姉妹と1ヶ月前までガーナで活動されていた大久保さんが同行で、心強く安心して移動できました。アディスアベバで乗り継ぎ、丸一日かけてガーナの首都アクラに到着。肌寒い日本から、むっとする空気に包まれたガーナの地に降り立ち入国ゲートを抜けると、娘の笑顔が飛び込んできて、思わず駆け寄りギュッと抱きしめていました。

娘は首都アクラからバスで約1時間、ングレシ・アママンフロの赴任先の学校の近くに住んでおり、薄暗い廊下の先には二重扉があり、開けると居間・寝室・トイレ兼シャワー室がありました。女の子らしく綺麗にしていますが、バケツで水を汲み流す蓋の壊れたトイレ・エアコンの無い部屋、水しか出ないシャワー等、日本では考えられない生活。「毎日大変ね」と声をかけると、「私の住んでいるところは水道から水が出るし、電気も止まらない、町にも近いから他の隊員さんよりも恵まれているのよ」とニコニコしながら話してくれる娘にたくましく成長した姿を見ました。娘の住んでいるアパートには、赴任先のカウンターパート兼日本語教師のアノ・アンソニー先生が住んでおられ、「明るい先生ですよ、ここは平和で何の問題もないから安心してください」と言ってくださった温かい言葉に目頭が熱くなりました。



アノ・アンソニー先生と近所の人たちと一緒に



娘の勤める国際学校で

学校を訪れると、授業中にもかかわらず、先生方が笑顔で出迎えてくださり、各クラスの授業と娘の授業姿を見ることができました。娘の授業は、畳の部屋で子どもたちが座布団に座って日本文化を学ぶ様子と、ジャパンウィークで主催される踊りの大会に出場することで、日本語での挨拶・よさこいソーラン・手遊びアルプス一万尺を校庭で練習する様子を見学しました。日本に帰って

から大会で優勝したと聞き、暑い中外での練習が実を結び、娘と子どもたちの喜ぶ姿が目に見え、思わず主人と2人で「やったー！」と声を上げていました。



外での練習風景



娘の授業風景（和室のクラス）

観光では、アブリボタニカルガーデンで現地の人に踊りに誘われて一緒に踊ったこと。娘の勤める学校の先生が経営する理容室で主人が髪を切ったこと。オアシスビーチで太鼓のレッスンを受けたこと。娘との楽しい時間。たくさんの思い出ができました。

「視察の旅」ならではの JICA 事務所および大使館表敬訪問・ドミトリー見学では、娘が多くの人に見守られながら仕事をしていることがわかり、感謝の気持ちでいっぱいです。そして安心して娘の帰りを待つことができます。思い出に残る貴重な体験をありがとうございました。



アブリボタニカルガーデンで
現地の人と一緒に踊りを踊っているところ

「こんにちは、ガーナ」

桐野 美津代さん：桐野 智美隊員（ガーナ／2015-4／栄養士）のお母様

成田を発ち 24 時間後、ガーナの首都アクラの空港で娘の顔が見えたときは、安堵感に体の力が抜けていくようでした。そのまま、引率の方に連れられて JICA 事務所へ。当地での諸注意（後々役に立つアドバイスでした）を受けたあとは、同行した私の妹と娘の 3 人でのガーナ珍道中が始まりました。

まず、世界遺産に登録されたエルミナ城とケープコースト城へ。これらの城には奴隷貿易の拠点となった悲しい歴史があります。ガイドの説明を聞きながら、虐げられた命を思い胸が痛みました。片道 4～5 時間かけてでこぼこ道を移動しましたが、その間に、人々の生活が見えて、とくに子ども達の働く様子が見えたときは、複雑な思いになりました。その後、野口英世記念研究所も見学できました。野口博士の偉業のおかげで、こうしてやってきた私達はこの国に歓迎されています。



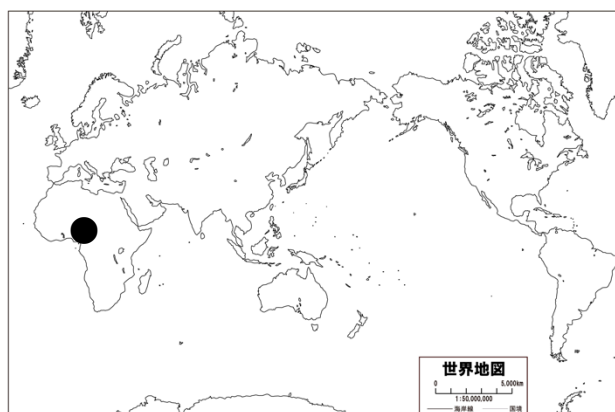
娘の用意した観光を終えて、飛行機で北へ 1 時間、娘の派遣先であるタマレへ移動し、4 日間を過ごしました。首都とは違い、インフラの不備は想像以上でした。村の中を歩いて移動するとき、行き交う人々が皆声をかけてきます。「こんにちは」「どこに行くの」など他愛ない会話ですが、日本ではほとんど見られない光景です。日頃からコミュニケーションをとり、助け合って生きているのだと思います。日本は便利になり過ぎて、隣人や地域との協力が薄らいできたのではないかとつくづく思いました。



翌日、隊員仲間が集まってきて、一緒に食事をしました。彼女達との会話の中にめげない強さ、確かな生活力を感じました。お土産のお菓子に感動していた彼女達の笑顔を思い出すたびに、また、日本の新米を「美味しい、美味しい」とほおばった娘を思い出すたびに、隊員達の無事を祈らずにはいられません。小学生だった娘は、小児喘息のため毎年入院していました。それが、アフリカの地で母子栄養のために微力ながらもこうして頑張っているのだと思うと感慨深いものがありました。

最終日に首都にある隊員のドミトリーを見学。JICA 事務所が隊員の安全を守るべく手を尽くしていることがわかり、安心することができました。帰途、飛行機の中から見たガーナの景色は美しいものでした。

カメルーン 11月8日～11月17日



2017カメルーンコース日程

| | 月日 | 都市 | 発着時間 | 所要時間 | 交通機関 | スケジュール |
|-------------|-------------------------------------|--|--------------------------------|----------------------------|----------------------------------|---|
| 1 | 11月8日 (水) | <事前研修会> 成田空港にて 東京 (成田) 発 | 17:00～18:30 20:10 | 16時間50分 | ET673 | 空路、アディスアベバへ |
| 2 | 11月9日 (木) | アディスアベバ着 アディスアベバ発 ヤウンデ 着 移動 (1時間) 日本国大使館 JICA事務所 夕食懇親会 | 7:00 8:45 13:20 19:00 | 6時間35分 | ET925 Hiace Hiace Hiace | 空路、ヤウンデへ 大使表敬 所長挨拶、JICA事業概要、安全対策、健康講話 café de Yaounde <div style="text-align: right;"><ヤウンデ泊></div> |
| 3 ～ 7 | 11月10日 (金) ～ 11月14日 (火) | カメルーン各地 | | | | 自由行動、隊員活動視察 |
| 8 | 11月15日 (水) | 集合 大使公邸 | 18:30 | | Hiace | 大使主催レセプション <div style="text-align: right;"><ヤウンデ泊></div> |
| 9 | 11月16日 (木) | 集合、空港へ出発 ヤウンデ 発 アディスアベバ着 アディスアベバ発 | 14:10 20:15 22:20 | 1時間30分 4時間5分 15時間00分 | ミニバス ET925 ET672 | 空路、アディスアベバへ 空路、東京へ |
| 10 | 11月17日 (金) | 東京 (成田) 着 | 19:20 | | | 着後、通関手続き。その後解散 |

ET：エチオピア航空

飛行機の発着時間などスケジュールが変更になる場合があります

カメルーン「視察の旅」

加藤 昌利さん：加藤 和美隊員（カメルーン／2016-3／環境教育）のお父様

娘との LINE で「カメルーン行ってみたいなー」と呟く。この一言から「視察の旅」が始まった。「親が行けるプログラムがあるよ」と聞きすぐに電話、資料を送ってもらい次の日には申込みをした。そして毎日申込み人数を確認、もう行く気満々であった。

海外は何回もいっているが、飛行機大嫌いの私が 20 時間も飛行機に耐え現地に無事到着。現地を経験した真緒さんの引率のおかげもあり、出迎えに来てくれていた娘の顔を見たらほっとした。

テレビで見たあの風景。バスがいっぱいになるまで出発しない。2 時間半待って、やっと出発と思いきやスタンドにより燃料補給。娘の任地までバスで 5 時間の旅。聞いてはいたが、もちろんトイレ休憩などあるはずもなく、バスが止まったら猛ダッシュで降り用を足す。緊張の連続で全然休まらなかった。ジャングルを切り開いて造った道路。ここはアフリカなんだと再認識する。やっとの思いで娘の家に到着。思った以上に立派な家だ。ガスもある。飲めないけど水道もある。水洗トイレもある。風呂は電熱機でお湯を沸かす。テレビはないけど、夕方になれば教会の音楽隊の演奏もある。日本にはない日常である。

日常見学ということでマルシェに行く。ここには何でも売っている。決して綺麗な場所ではないけれどなんか落ち着く場所だ。次の日は漁港に行き見学をし、上がったばかりの食材でお昼を頂く。とてもおいしかった。確かにカメルーンに来ているはずなのにすごく落ち着く場所だ。普段娘と話をしなかったけど、会話も沢山して有意義な時間を過ごすことが出来た。



残り 2 日間は任地での活動の見学。幼稚園と学校での授業を見て回る。初めてみる娘の仕事ぶり。慣れない



フランス語を使い生き生きしていてすごく眩しく見えた。任地へ来て何が一番大変だったかということ、全て歩きということだ。いつもの半分も歩いてないよと娘は言う。雨季から乾季に入る頃だからまだそんなに暑くないんだそうだ。最終日は大使公邸での食事会。現地で仕立てた服を来て、挨拶をする機会を与えて下さりとてもいい思い出となりました。

この旅に同行した皆様、JICA 事務所の皆様、日本大使館の皆様、現地の皆様、多くの方々にお世話になりました。感謝申し上げます。娘には、ここで体感した知識・自信を糧に次のステップに進んでくれることを期待しています。



カメルーン「視察の旅」

北島 洋子さん：北島 綾音隊員（カメルーン／2016-1／小学校教育）のお母様

アフリカ、カメルーンへ、娘に会いに行くと言ったら、多くの友人知人が驚いて「無事に帰って来てね」「体に気を付けてね」と心配してくれた。日本人が抱く「アフリカ的なもの」への想像→未開、辺境、水不足、不衛生、伝染病……などの負の思いがあふれでる。でも、TV で見たガボンの田舎町の若者は皆スマホを持っていた。ウカンダのマルシェでは、食品はむき出しで売られていたけれど、そこを歩く女性たちはお洒落な服を着てパラソルをさしていた。

頭の中でグルグルと回る疑問、カメルーンはどんな所なのだろう？確かに、インフラの不備とか交通の不便とか日本との違いはたくさんあった。水が豊かで上下水道が整い、冷暖房が完備し好きなだけ電気を使える国、日本。対して、古い日本車が走り、停電が頻繁に起こり町のあちこちにゴミが山積みされていたりするカメルーン。でも、生活に活気があり、人々は楽しそうに暮らしていて、学校大好きな子ども達があふれている学舎。

「ヒーヒー」とからかわれたりもするけれど、親しくなるとものすごく親切で、大切に思ってくれる人々。様々な考えの人が居て、愉快だったり不愉快だったりするのはどこの国も同じなのだと思う。便利か不便かの違いと、幸か不幸かとは一致しないのだとも思う。食べ物が美味しくて、お洒落が好きで、陽気で元気溢れる国、カメルーン。国政や文化の違いや考え方の違いが有るだけ。お互いに知らないだけなのだろう。知り合えたらもっと仲良くなれるかも知れない。

とても意義深い楽しい旅だった。見てきた事を伝えると、「そうなんだ！知らなかった。思い込みがあった」と見識を新たにする日本の友達。カメルーンの事をもっと知りたい！と興味を持つ人も居た。

私は、「国と国をつなぐ一筋の糸になれば……」と願いながら、旅の体験を会う人ごとに伝えている。



任地で娘が大変お世話になったご夫妻



日本大使館公邸でのレセプション

カメルーン「視察の旅」に参加して

白川 由季子さん：白川 泰嵩隊員（カメルーン／2016-1／コミュニティ開発）のお母様

カメルーン「視察の旅」は、LINE でみる生き生きとした息子がどんな生活をしているのか？初海外旅行ですが見てみたいと申し込みました。北海道からは3人が参加、子ども達が同期ということで、息子にグループラインを作ってもらい、数回会ったり、LINE で盛り上がり、旅行の準備の大変さや不安よりも楽しみドキドキな出発でした。前日までの仕事や準備のおかげ？で約23時間の長～い飛行時間もわりと快眠、快食。いざ、カメルーン、同じ西部の渋木親娘と同行、息子達は、カメルーンを好きになってほしい、知ってほしいと、考えてくれて、まずは、高原のリゾート地（カメルーンにもある！）に宿泊、全身オイルマッサージは至福の時でした。



クスクス作り

翌日は、博物館とマルシェ見学、色とりどりの布地や野菜、血肉が両側に続く様子は圧倒されます。そしてそれぞれの任地へ。任地バレッセンの息子の家は、大掃除したようで、それなりに綺麗でしたが、トイレは便座が割れている、前任者の時からだから問題ないとの事、水道が無く、飲めるきれいな水ではもったいないと、息子の用を足した上に、私も用を足し、食器を洗った水で流すということに衝撃を受けつつ、そうですねと。

翌日は、きのご栽培の現場3か所を見学、講習会もするそうだ。経験のない事なのに。「コミュニティ開発は、何かを見つけ出し、協力者・賛同者を探しだし、現地の人だけでできるようすることが大事。お金を得られることも必要だ」という息子が、かっこのいいあとと感心しました。



シェフリー家族と



シェフリーときのご



パイナップルを食す

ガルディアン家族やシェフリー（村の王様）の家では、現地食のタロとヤギの黒いスープやクスクスを御馳走して頂き、下手ながらも手でなんとかいただきました。息子からは「母ちゃんが、何でも気にせず食べる人でよかった」と、同じものをおいしく食べるって仲良くなれるのですね。パイナップルも芯まで甘くおいしかった。日本から持って行った大量のあめ玉は、大好評で、ノンシュガーのメントールのど飴は、特に喜んでくれた。

チンパンジーの保護区では、迷子の幼い子を抱っこするという珍しい体験もでき、そこへの往復の道は、ぐちゃぐちゃで、タクシーが壊れていくという恐怖も経験した。カメルーンのタクシーは、フロントガラスが割れている、壊れている、乗る時には値段交渉し、5人乗り乗用車に7~8人乗合になるというのも驚きでした。

最終日前日に、都会のドウアラで北海道組が合流し、お買い物。色鮮やかな布地で作られたポーチやバック、スリッパなど、お土産を購入する時には、北島隊員の素晴らしい交渉術で、大変お得に買えたのです。アイスも果汁たっぷりです本当においしい。



チンパンジー保護区

多くの日本ではあり得ない経験ができ、息子のたくましさ、生き生きとがんばっている姿を見ることができたのは、楽しくて、本当に幸せでした。

最後に、企画していただきました JICA 関係者様、一緒に「視察の旅」に参加した皆さんに心からお礼申し上げます。併せて隊員の皆様の健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。



カメルーン隊員と



大使と北海道3母

大自然に生きる知恵とおもてなしの心 カメルーン サンメリマ

廣木 玲子さん：廣木 瀬菜隊員（カメルーン／2016-2／環境教育）のお母様

娘と成田を飛び発って 28 時間。首都ヤウンデで 1 年振りに娘の瀬菜と劇的再会を果たしました。LINE 電話等で事前に打合せ、「視察の旅」では瀬菜の日常生活に密着、滞在地サンメリマでの 5 日間は、知恵と発想力、努力と忍耐、臨機応変と行動力、まさに驚きと感動の日々でした。

瀬菜の職種は環境教育。公立私立 12 校の学校を回り、環境に対する意識を子供達と一緒に考えるという授業を毎日教室で体験しました。授業は仏語や英語で、手作りの絵やパネルを使い、スピーディーで子供が生き生きと活気溢れる授業内容。印象的だったのは良い回答をした子に、「Clap for him/her」と瀬菜先生がいうと、全員が決まったリズムで拍手が起こり、回答を讃える。アフリカらしいのは腰を振ったり、ストリートダンスの様なリズムを体で表現すること。また今回訪問した 5 校全教室で、私に対して日本語での挨拶には感激しました。日本からの千羽鶴が喜ばれ、学校へ贈りました。

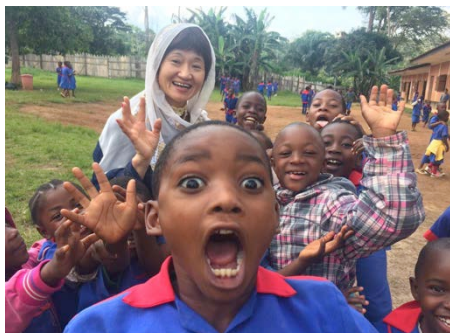
通勤は徒歩。1 日何万歩と実によく瀬菜とアフリカの大地を歩きました。

校長先生や先生方、現地ご家族との交流は、家に招待されアフリカ料理の伝授や瀬菜と隊員の絢野さんと日本の手巻き寿司など持ち寄り、大変有意義なものでした。

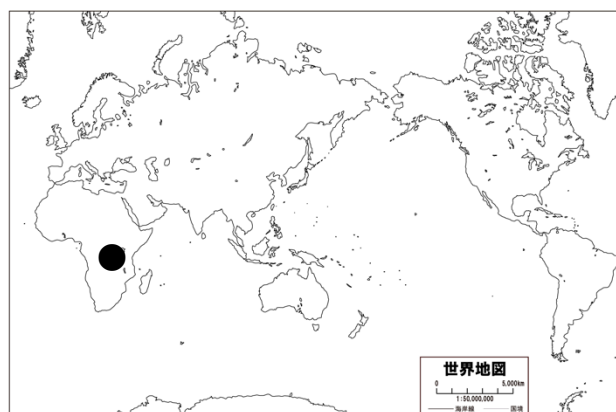


滞在中ほぼ停電断水で、不便を感じるより、特に水が出た時の感謝の気持ちが大きく、水を 5 種類に分けるなど、代々引き継がれる隊員との知恵と前向きな行動力が伺え、『ちょっと困ると愚痴になる、本当に困ると知恵が出る』ということを実感しました。教育問題を考える一貫で瀬菜が飼い始めた雌豚のサクラに会い、残菜ゼロ実践を誇らしく思い、サクラに頼ずり。

今回の視察では韓国、イタリア、フランス、アメリカのボランティアの方々との話し食事をし、協力隊員の活動が途上国だけでなく世界を繋げる活動だなという思いで帰国しました。大使館、JICA 駐在の方々のサポート、協力隊を育てる会の皆さまの活動、そして引率真緒さんに感謝の気持ちでいっぱいです。



マラウイ 11月22日～12月2日



| 2017マラウイコース日程 | | | | | | |
|---------------|---------------|--|--|-------------------|-----------------|-------------------------------------|
| | 月日 | 都市 | 発着時間 | 所要時間 | 交通機関 | スケジュール |
| 1 | 11月22日 (水) | <事前研修会> 成田空港にて 東京(成田) 発 香港 着 香港 発 | 15:30~17:00 18:25 22:40 23:50 | 5時間15分 13時間15分 | SA7139 SA287 | 空路、香港へ 空路、ヨハネスブルクへ |
| 2 | 11月23日 (木) | ヨハネスブルク着 ヨハネスブルク発 リロングウェ 着 | 7:05 10:00 12:20 | 2時間20分 | SA170 | 空路、リロングウェへ <リロングウェ泊> |
| 3 | 11月24日 (金) | リロングウェ マラウイ各地 | 9:00 | | | ○JICA事務所訪問 終了後、解散 自由行動、隊員活動視察 |
| ~ | ~ | | | | | |
| 8 | 11月29日 (水) | | | | | |
| 9 | 11月30日 (木) | リロングウェ集合 | 18:30 | | | ○日本大使館訪問 <リロングウェ泊> |
| 10 | 12月1日 (金) | リロングウェ 発 ヨハネスブルク着 ヨハネスブルク発 | 13:05 15:30 17:40 | 2時間25分 13時間05分 | SA171 SA286 | 空路、ヨハネスブルクへ 空路、香港へ |
| 11 | 12月2日 (土) | 香港 着 香港 発 東京(成田) 着 | 12:45 15:20 20:15 | 3時間55分 | SA7138 | 空路、東京(成田)へ 着後、通関手続き。その後解散 |

SA : 南アフリカ航空

飛行機の発着時間などスケジュールが変更になる場合があります

「視察の旅」に参加して

木原 麻希さん：木原 悠希隊員（マラウイ／2016-2／栄養士）の妹さま

参加にあたって、姉には、「マラウイの現地生活をしたい」と伝え、姉の日常生活を極力変えずに過ごしました。日本では考えられないような移動手段、買い物、道端で換金、サファリ、活動の見学、等の生活があり、これまでの人生の中で一番濃い時間となりました。その中でもやはり、活動先と活動自体の現状が考え深い経験になりました。

◆活動先の現状（病院）

椅子が足りず、廊下まで並んで患者さんが待っていましたが、時間になってもスタッフは現れず、診療が始まらない。栄養指導のスタッフも姿を見せず、見せたと思ったら奥の部屋でおしゃべりが始まるなど、日本では考えられないくらい自由でした。

◆活動自体の現状

活動中、協力してくれるスタッフもいますが、指示を出すだけのスタッフもあり、さまざま。活動要請をしたカウンターパートには、この期間中1度も会うことはできませんでした。村でのクッキング・デモンストレーションでも、村の女性陣がゆっくりと集まり、お金を出し合って集めた材料（細かい材料は大きな町のスーパーになかったり、高かったりするので簡単に手に入りません）で、楽しそうにクッキングをしていました。ここでは姉以外のスタッフはいませんでした。（元々は何名かスタッフがいたそうです。）

私が考えていた国際協力と求められている国際協力の差を目の当たりにしました。そして、2人で国際協力とは何なのかを一緒に考える貴重な時間ができ、世界を変えるには、文化に合わせた変化と長い長い時間が必要だと感じました。気軽にマラウイの人々からは笑顔で挨拶をされ、心の豊かさも感じ、文化は違えど、とてもいい国だと思いました。姉が帰ってきた時のマラウイの国・文化について共通の話ができるのが楽しみです。

道中、トラブルがありましたが、迅速な対応で無事に帰ってくることができたことに、協力隊を育てる会の皆様に心より感謝申し上げます。



クッキングデモ



シマ作り

マラウイへの「視察の旅」に参加して

古川 由布子さん：古川 南隊員（マラウイ／2016-1／小学校教育）のお母様

娘がマラウイに発ってから1年と4か月、「視察の旅」のおかげでようやく再会が実現しました。娘にとっては協力隊が初めての一人暮らし(しかもいきなり外国)、私にとっても初めての経験で、ここまで常に心配で落ち着かない日々を送っていました。元気にやっていることはわかっていたましたが、実際に娘と会い、生活を見ることができて、本当に安心することができました。

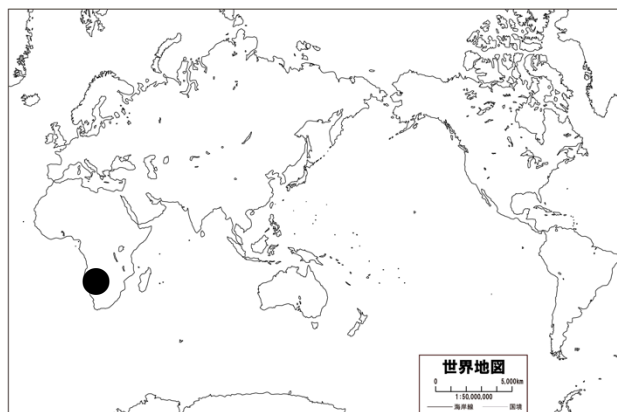
たくましくなった娘の姿に「かわいい子には旅をさせよ」とはまさによく言ったものだと、感慨深いものがあり、いきいきと活動に取り組む隊員の皆さんの姿には、若さ、明るさ、情熱がみなぎり、なんと羨ましいことかと眩しささえ感じました。ほぼ停電、水が出ないという日々の過酷な状況の中で工夫して暮らしている姿、ろうそくをともして明日の授業の準備をし、七輪でご飯を炊き、ためた水を大切に使う様子を目の当たりにし、日本で当たり前に行なっている生活についても改めて感じさせられるものがありました。これも娘の家で過ごして得られた貴重な経験です。

また私自身も、娘の赴任先の小学校で日本の歌と遊びを紹介させてもらい、かわいい子どもたちと触れ合う夢のような時間を持つことができました。私の人生においてもかけがえのない経験をさせて頂き、本当に素晴らしい視察の旅となりました。

改めて、この旅を企画して下さった協力隊を育てる会の皆様、また隊員が安心して活動できるように万全の体制で臨んでくださる JICA スタッフの皆様にご心より感謝申し上げます。最後に、行きに経由地 2 泊という思わぬ飛行機トラブルの中、引率の鈴木さん、偶然一緒になった隊員の豊田さんには本当にお世話になりました。



ナミビア 11月22日～12月2日



| 2017ナミビアコース日程 | | | | | | |
|---------------|---------------|--|--|-------------------|-----------------|--|
| | 月日 | 都市 | 発着時間 | 所要時間 | 交通機関 | スケジュール |
| 1 | 11月22日 (水) | <事前研修会> 成田空港にて 東京(成田) 発 香港 着 香港 発 | 15:30~17:00 18:25 22:40 23:50 | 5時間15分 13時間15分 | SA7139 SA287 | 空路、香港へ 空路、ヨハネスブルクへ |
| 2 | 11月23日 (木) | ヨハネスブルク着 ヨハネスブルク発 ウイントフック 着 | 7:05 9:50 11:45 | 1時間55分 | SA074 | 空路、ウイントフックへ 到着後、隊員の出迎えを受け、 各自自由行動、隊員活動視察 |
| 3 | 11月24日 (金) | ナミビア各地 | | | | |
| ~ | ~ | | | | | |
| 9 | 11月30日 (木) | | | | | |
| 10 | 12月1日 (金) | ウイントフック 発 ヨハネスブルク着 ヨハネスブルク発 | 12:35 14:25 17:40 | 1時間50分 13時間05分 | SA075 SA286 | 空路、ヨハネスブルクへ マラウイコースと合流 空路、香港へ |
| 11 | 12月2日 (土) | 香港 着 香港 発 東京(成田) 着 | 12:45 15:20 20:15 | 3時間55分 | SA7138 | 空路、東京(成田)へ 着後、通関手続き。その後解散 |

SA：南アフリカ航空

飛行機の発着時間などスケジュールが変更になる場合があります

「視察の旅」に参加して

吉野 恵さん：吉野 高章隊員（ナミビア／2015-4／コンピュータ技術）のお母様

2016年11月、長男の派遣先、アフリカ・ナミビアに、夫と次男と行きました。広大な砂漠や、サイに出会えたサファリなど、長男とともに過ごした毎日が感動の連続でした。長男の住まいにも泊まったので、普段の生活がわかり、安心しました。後日、三男も一人で訪ねていったので、我が家全員がナミビアで長男との旅ができました。

翌年、「視察の旅」がナミビアも設定されることを知り、迷いながら申し込みました。催行人数に足りずツアー中止になりかけましたが、マラウイコースの方々と一緒に南アフリカの空港まで行けることになり、助かりました。（往路乗り換えでハプニングあり）

2度目のナミビアは前回と違う、川や緑の多い地域をまわり、ゾウ・キリン・カバなどと出会え、またいろいろな人々――JICA ボランティアの任地小学校や地元の人・子どもたちと交流したり、文化の一端を知ることができ、貴重な時間となりました。

こんなに素晴らしい体験をさせてもらったのは、長男・家族のおかげ。そして、健康に不安があった私に「行きたい、行けそう」と思わせていただいた「協力隊を育てる会」に感謝です。長男が赴任してすぐの体験報告会（留守家族連絡会にて行われる体験報告会）の中で、アフリカの「視察の旅」に参加させてお母さんの「私でも行けました、ぜひお子さんのところに行ってください」の言葉に背中を押されたのです。

もうすぐ帰国する長男も、この2年間多くの方々に支えられてきたことでしょう。

ンパンドユネネ！――ありがとう―― ※ナミビア北部の言葉



2016年11月 ナミビア・ナミブ砂漠にて

ナミビアを旅して

鈴木 信男さん：鈴木 健治隊員（ナミビア／2016-1／電気・電子機器）のお父様

「視察の旅」を企画された「協力隊を育てる会」に感謝申し上げます。

参加申し込みは、ナミビアがどんな国か、息子がどんなところにいるのか、知る良い機会と思いました。そうしたら、ナミビアコースは3名しかいないので、ツアーにならないと言われ、それでも成田空港からヨハネスブルグ空港まで引率していただき、大変感謝しています。

息子は英語を学ぼうとして、英国に行き語学留学してきて、ナミビア国の公用語が英語ということで行ったのかと思っています。日程は、平成29年11月22日から12月2日の11日間でした。国は広く移動に時間がかかるので、ナミブ砂漠とスワコップムント（街）を中心に移動しました。



砂漠の湖



ナミブ砂漠

初めにナミブ砂漠ツアーに6人とガイド兼運転手で、2泊3日となり、ドイツ人1名、イタリア人2名、日本人3名、ガイドの現地人1名でした。ガイドの説明等は、英語でした。（私にはわからないことが多かった。ガイドは日本に何回か来ていて片言の日本語が話せました。）ロッジで全員テーブルを囲み懇談をしましたが、共通の言語は英語です。その時、流暢に英語で会話しているのが羨ましかったです。息子のほかには1人、日本人がいました。世界各地を歩いていて、危険なことや大変なこともあったそうです。息子に1年半も現地にいれば現地のことや言葉もわかり、羨ましいと言っていました。スワコップムントへの帰り道に「Tropic of Capricorn（南回帰線）」の標柱に立つことができたことは嬉しかったです。



南回帰線

移動は自動車で行いましたが、国が広く移動に時間がかかるのに、手短なものはタクシーかと思いました。道は郊外にでると直線が多く、勾配も少なく、私が見た陸橋と線路と交差しているところ1ヶ所でした。そのためか、自動車のスピードは時速150kmはいつているのではと思った。

スワ Copp メントには 4 泊 5 日の滞在となりました。街中は、道が広く整っていて綺麗な街でした。ただ、家の前には門扉があり閉まっていた。民泊しましたが、鍵を 2ヶ所開けて入りました（治安が良くないと思いました）。



スワ Copp メント街中



スワ Copp メント海岸

スワ Copp メントから観光地の岩山に行き登りました。岩に赤く動物の絵を描いていて、いろいろな部族がいて、動物の血で書いたものと現地のガイドが話してくれました。文字を持たなく、言葉も簡易な暗号みたいな、いや合図みたいでした。



岩に血で書いたもの

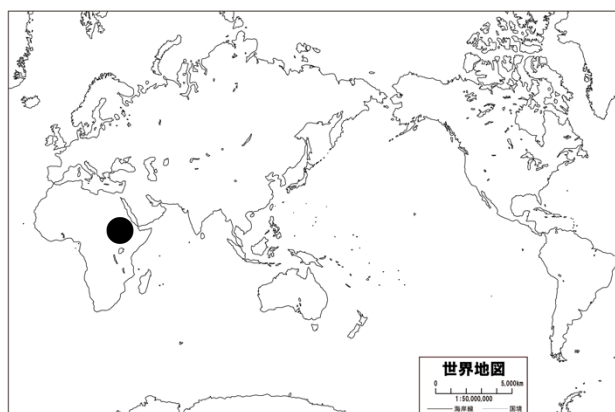
今、国では、教育を進めているが、受ける人・拒否する人がいるということでした。息子が教えている人は、それを考えると高等教育を受けている人なのかと思いました。国には公用語の英語が話せない人がいるのだろう。

近くのスーパー、肉屋、酒屋に行き、食事の材料を買い調理して飲み食いしていました。昼はレストランでの食事となりました。ふと考えると、店員は現地人なのに、客は白人ばかりではないかと気づきました（貧富の差があるんだ）。

この国はこれからどのように発展するのだろうか――

市街地には、綺麗な家が建っていて、郊外には雨風を防ぐだけの様な住宅街もありました。私は、長年林業の仕事に携わってきました。この国の広い土地に植林して木材生産して、地球環境（森林の二酸化炭素吸収）を良くし、雇用拡大を行い、この国の発展に繋がれば良いなと思いました。

エチオピア 11月29日～12月8日



2017エチオピアコース日程

| | 月日 | 都市 | 発着時間 | 所要時間 | 交通機関 | スケジュール |
|----|---------------|----------------------------|----------------------|---------|-------|------------------------------|
| 1 | 11月29日 (水) | <事前研修会> 成田空港にて 東京(成田) 発 | 16:30~18:00 20:00 | 16時間50分 | ET673 | 空路、アディスアベバへ |
| 2 | 11月30日 (木) | アディスアベバ着 | 7:00 10:00 | | | ○JICA事務所訪問 <アディスアベバ泊> |
| 3 | 12月1日 (金) | エチオピア 各地滞在 | | | | 自由行動、隊員活動視察 |
| ~ | ~ | | | | | |
| 8 | 12月6日 (水) | アディスアベバ集合 | | | | |
| 9 | 12月7日 (木) | | 10:30 17:30 | | | ○日本大使館訪問 ○夕食懇親会 |
| | | アディスアベバ発 | 22:25 | 14時間55分 | ET672 | 空路、東京へ |
| 10 | 12月8日 (金) | 東京(成田) 着 | 19:20 | | | 着後、通関手続き。その後解散 |

ET：エチオピア航空

飛行機の発着時間などスケジュールが変更になる場合があります

「視察の旅」に参加して

横尾 秀樹さん：横尾 菜摘隊員（エチオピア／2016-1／小学校教育）のお父様

エチオピアで初等教育活動をおこなっている娘の思いを家族で共有すべく、私と妻と次女はアフリカの地へと向かいました。16時間後に到着した空港で、久しぶりに見た娘の笑顔はいつもと同じでしたが、日差しがあるのに暑さを感じないのは、ここが海拔 2500m の高地の国であることを実感させていただきました。

滞在中に案内してくれたのは、娘が活動している小学校、首都アディスアベバの中心街、世界遺産のあるラリベラの町…と、どれもこれもが、日本での常識を覆すような刺激的なものばかりでした。しかし、この旅を通じて、それらの光景よりも強く印象に残ったものは、この国で生きる人々の生活スタイルです。

無造作に積み上げられた果物屋、等身大の牛肉の塊をぶら下げて切り売りしている肉屋、便座が取り外れたままのレストランのトイレ…等々。豊かな物質に恵まれ、さまざまなサービスの提供に慣れてしまっている私たちには衝撃の連続でした。中でも、移動手段として頻繁に利用した乗り合いバスは、ワンボックスカーの後部座席に 15 人以上が詰め込まれるという過酷な乗り物であり、座席にハンカチ半分ほどの隙間があれば「そこが空いているから座れ」と指示され、押し込まれます。つまり、行きていく最低限のものがあれば何の問題もなく、そこに余計なものを付け足そうとしないのです。大袈裟かもしれませんが、私は、アフリカの大地に生きる人々に、生命の本質を見たような思いがしました。

帰路の空港で、手を降って見送ってくれる娘の姿に、おそらく、この地の空気を吸わなければ気づくことができなかった、彼女の逞しさを讃える気持ちは、何にも代えがたい家族の宝物になりました。



「視察の旅」に参加して

西田 智子さん：西田 香奈子隊員（エチオピア／2017-1／小学校教育）のお母様

「視察の旅」は同行者の方がいるので一人でも参加できるとお聞きし、主人と息子は10日も仕事を休めな
いため、一人で参加しました。成田から17時間、空港に迎えに来てくれた娘と5か月ぶりに会えた時は涙が
でました。エチオピアの首都アディスアベバの中心部は娘から聞いていた通り車がブイブイ走っていて、乾期
のせいか砂埃と排気ガスでとても空気が悪い。そしてあちこちにビルを建設中で、その足場が木だったことに
驚きました。初日からお昼はエチオピアの主食インジェラにトライ！噂に聞いているより食べやすく、これ
ならいけるなと思いました。

二日目は今回の一番の目的である娘の小学校に行きました。職員室で先
生方一人ずつと挨拶をしてから、ちょうど放課後だったので外に出てみる
と、子どもたちは娘に気づき、「カナコー！！」と叫んでやってきます。
隣に何だか似た顔の人がいるなあって感じで、とにかく群がる→握手する
→名前を聞いてくる→mother→髪を触るという大変なことに。

その日は午前と午後で3コマ、2年生のエステティックスの授業に行き
ました。日本で私が小学校の頃にやっていた「かかし」のゲームをやれる
ように娘が準備をしてくれていて、一緒にやりました。日本の主食が米で
田んぼには鳥よけのかかしが立っていると説明すると、みんな食い入るよ
うに見ています。その後やり方を説明してから順番にやってみました。男
の子も女の子も少し恥ずかしがるようなシャイな感じでやり始める子が多かったのですが、だんだん慣れてく
るとキャーキャー盛り上がり、とても楽しそうで可愛かったです。お昼も先生方が誘って下さり、インジェ
ラをいただきました。そして職員室では歓迎のコーヒーセレモニーまでやってくださいました。



真ん中の4日間はエチオピア北部にある世界遺産のラリベラとアクスムに。カラカラに乾いた大地と真っ青な空、雄大な景色、ラリベラの岩窟教会群、アクスムのきれいな街並み、美しい湖、忘れません。アクスムには同期隊員の方が3人いて、みんなの活動も見せてもらいましたし、食事毎回一緒にしてもらい、ガイドも頼んでくださったりと、とても安心して過ごすことができました。

首都の隊員さんたちも食事に誘ってくださったり、帰国の日には空港までお見送りに来ていただきました。また同じ任地にお住まいの大家さんのお宅にも夕食にお呼ばれました。最終日には大使館訪問と JICA 事務所の皆さんとの懇親会もあり、観光で行く海外旅行では体験することのできない、中身の濃い時間を過ごすことができました。

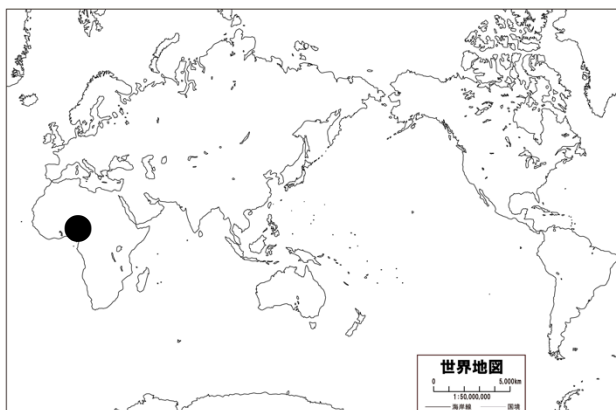


滞在中、高山病にもならず、お腹もこわさず、ダニにも刺されず、元気に過ごせたのも、今回お世話になった皆さんのおかげだと心より感謝の気持ちでいっぱいです。

エチオピアの人たちに会って一番感じたことは、ものはなくて日本人と比べれば規律や秩序感は足りないかもしれないけど、人を大切にする、純粹で心が豊かなんだなあということです。今回は娘に関わるたくさんの人に出会えたこと。元気になっている娘に会えて安心できた、そしてほんの少し人生観が変わった貴重な旅となりました。



ベナン 2018年2月18日~2月25日



2017ベナンコース日程

| | 月日 | 都市 | 発着時間 | 所要時間 | 交通機関 | スケジュール |
|---|-----------------------|--------------------------------|---------------------------------|-------------------|----------------|---|
| 1 | 2018年 2月18日 (日) | <事前研修会> 成田空港にて 東京(成田) 発 | 16:30~18:00 20:10 | 16時間50分 | ET673 | 空路、アディスアベバへ |
| 2 | 2月19日 (月) | アディスアベバ着 アディスアベバ発 コトヌー 着 | 7:00 8:55 12:55 午後 | 6時間00分 | ET917 | 空路、コトヌーへ ○JICA事務所訪問 <コトヌー泊> |
| 3 | 2月20日 (火) | コトヌー ベナン各地 | | | | |
| ~ | ~ | | | | | |
| 5 | 2月22日 (木) | | | | | |
| 6 | 2月23日 (金) | コトヌー集合 | 夕方 夜 | | | ○日本大使館訪問 ○懇親会 <コトヌー泊> |
| 7 | 2月24日 (土) | コトヌー 発 アディスアベバ着 アディスアベバ発 | 13:45 21:25 22:25 | 5時間40分 14時間40分 | ET916 ET672 | 空路、アディスアベバへ 空路、東京へ |
| 8 | 2月25日 (日) | 東京(成田) 着 | 19:20 | | | 着後、通関手続き。その後解散 |

ET: エチオピア航空

飛行機の発着時間などスケジュールが変更になる場合があります

“BENIN”が大好きになった「視察の旅」

及川 昌子さん：及川 聡範隊員（ベナン／2016-4／看護師）のお母様

飛行機からの眺めが地元の花巻空港に似ていると思いながら、ベナンの国際空港に到着後、入国審査を受けて外に出て見ると、沢山の隊員の方々や JICA 職員の方々が迎えに来てくれていました。今回の「視察の旅」は9家族18人と大所帯で、北海道から沖縄までの年代も様々なメンバーでの旅になりました。到着後にベナンの JICA 事務所を訪問。所長さんから隊員の活躍の様子や、旅行中安全に過ごせる為のアドバイス等のお話がありました。



翌日、息子の任地であるボルグー県へ出発となりました。日本を旅立った当日の朝の気温はマイナス10度で、アフリカのベナンは30度越えという気温差に加え、ほぼ1日がかりの飛行機の旅、還暦を過ぎた父ともうすぐ還暦の母の体調を考慮して、借り上げタクシー（トヨタ車）と温水シャワーのあるホテルでの宿泊という贅沢な旅になりました。サベで先輩の教育隊員の方と現地食で、みんなが大好き！お餅の様なイニャンピレの昼食を共にし、宿舎になっているベナンの長屋を見せていただき、近くにある丘の上からサベのママと呼ばれる小高い丘の景色を眺めました。

次の日はパラクーのホテルを出発し、教育隊員と共に小学校を見学させていただきました。先生達がストライキ中でいない中で、実習生による授業の見学と、校長先生からベナンの小学校の事を説明してもらい、最後に「是非日本で紹介して下さい。」と言われました。（この感想文で紹介しましたので役目は果たしました。）その後、コミュニティ開発隊員と共に保健福祉局視察。大きな小学校の建物、幼稚園と井戸のある「たけし小学校」にも立ち寄りました。昼食を二人の隊員と共に現地食、アカサとピーロンをいただきました。このお二人は先輩隊員かと思ったら、7月に来たばかりだとか。現地に馴染んで任務をこなして居ました。驚きました。（ご家族の方、ご安心ください。）



今回の「視察の旅」のメインである息子の勤務先への訪問です。残念な事にラッサ熱の発生で、息子もコト又ー退避となっていて、院内の視察は出来ずに外観のみの見学でしたが、院長先生が歓迎してくださいました。先生は大阪にいらした事があるそうです。盆踊りの写真を見せていただきました。

「視察の旅」は隊員や現地の方々と触れ合える、観光旅行とは違う大きな喜びがありました。実は、息子からベナンへ行くと聞いた時は、ベナンの名前も場所も知らず、アフリカのイメージで顔を白くペイントして槍を持った人が居る国に何故行くのか？とっていました。今回の旅行で訪問した息子の同僚の方の家で、7ヶ月くらいの娘さんが息子に抱っこされた時に人見知りで大泣きしたのを見てた時に、ベナンの人も日本の人も同じなのだと思った印象深い体験がありました。旅の終わりには“BENIN”が大好きになっていました。

今回、JICA 事務所、協力隊を育てる会、その他お世話になりましたの方々にお礼申し上げます。

ベナン共和国「視察の旅」に参加して

後藤 路子さん：後藤 結花隊員（ベナン／2016-4／コミュニティ開発）のお母様

「視察の旅」に際し、空港での事前研修会と JICA 事務所での概要説明は、訪問国の実情を知ることができ、大変参考になった。

娘との行動の初日は、元青年海外協力隊員の、内藤獅友(シユウ)さんに同行をお願いし、約 300 年前から湖上に集落を形成しているガンビエに行った。湖底に打ち込んだ柱の上に家を建て、漁業が主の生活は実に神秘的であった。

内藤さんは、日本製品の品質の良さを活かして、安く中古タイヤを提供する仕事のほか、現地の青年ジコさんと地産の牛乳を原料に、ヨーグルトの製造販売を研究中だ。

2 日目は、ベナンで唯一の世界遺産アボメーの王宮跡を見学し、文化の違いを学んだ。

3 日目は、ケトゥ市に入り、先輩隊員の活動により地域に定着した野菜の苗づくりの成果を見学した。娘の任務先の福祉センターを訪問すると、マダムモニック所長とイブ相談員とナタリー事務員が、盛大に歓迎して



くれた。出国から 10 か月余り言葉の壁を克服しながら、障害者の生活向上のため活動している姿を想像し、よく一人で頑張っていると感動した。業務後モニック所長は、近くの食堂で、ピーロン（キャッサバと野菜の練り物）に、魚とマトンソースを付けて食べる現地食をご馳走して下さった。所長がお勧めのデカネズミ(グラスカッター)を煮込んだソースは、味わったことのない風味だった。

アパートは高い塀に囲まれ、部屋はシンプルで整然と物が置かれ、ここで一所懸命に生活している姿が確認できた。通勤経路を歩くと、みんな「ボンソワー（こんにちはの意味）」とにこやかに挨拶し、ベナン人の優しさや人の好きを感じた。

4 日目のコトヌーに戻る車窓からの真っ赤な土の畑にパーム椰子、綿花を満載したトラック、頭に大荷物を載せた女性、賑わう市場などの風景は、永く私達の心に残る。

コミュニティ開発の要請に対し、知識や語学力も不十分な娘が、元気に力強く活動が続けられますことは、JICA の皆様による事前研修や任務地での細部にわたるご支援によるものと、深く感謝申し上げます。娘の活動がたとえ僅かでも、ベナンの障害者の方の生活支援の手助けとなると共に、自身の成長に繋がることを切に願っています。



また行きたい「視察の旅」

竹花 裕子さん：竹花 絢隊員（ベナン／2017-2／野菜栽培）のお母様

長い長い移動だった。行きはワクワクドキドキ。帰りは、少しの安堵とほっくりした気持ちを抱えての帰宅だった。

コトヌーから娘の任地のジュグーまでは長距離バスで 10 時間。途中ボイコンというドライブイン的なところで 10 分の休憩。雑多に並んだ屋台の間をすすると抜けて行く娘の後に付いてトイレタイム。出発のクラクションにどぎまぎしている私を尻目に、屋台でお昼ご飯を調達してくれた。揚げ魚とゆで卵の汁かけご飯。美味しかった。町では近所の子供たちに名を呼ばれ、懇意にしている三輪タクシーや関係機関である市役所、農業省、そして農民のおじさん達や食堂のおばさんに私達家族を紹介してくれた。皆が笑顔で、娘を受け入れてくれている様子を目の当たりにすることが出来て嬉しかった。

日本で研修を受けて行っているにしても、たったの 4 か月余りで彼の地に彼女のコミュニティが出来ていた。フランス語もお金の単位も分からない母は、彼女の小さいけど大きく見える背中に尊敬のまなざしを浴びせながら、只々付いて歩いた日々だった。

JICA 事務所の皆さんが、健康面も含めて隊員ひとりひとりを守ってくださっている様子もを見せていただき感謝。同じ敷地に住む先輩隊員で教師をしている彼の体育の授業を見学することが出来、4 年生のフランス語の授業に参加させていただいたのも貴重な体験だった。

LINE で繋がってはいてもどんな様子かもどかしかったことが、肌で感じる事が出来て、参加してとても良かった。またぜひ、明日にでも飛んでいきたい(笑)。企画していただき、ありがとうございました。



三輪タクシーに荷物共々揺られているところ

セネガル 2018年2月20日～3月1日



| 2017セネガルコース日程 | | | | | | |
|---------------|--------------|--|---|----------|-------|---|
| | 月日 | 都市 | 発着時間 | 所要時間 | 交通機関 | スケジュール |
| 1 | 2月20日 (火) | <事前研修会> 成田空港にて 東京(成田) 発 | 17:30~19:00 21:20 | 12時間10分 | EK319 | 空路、ドバイへ |
| 2 | 2月21日 (水) | ドバイ 着 ドバイ 発 ダカール 着 | 4:25 7:15 16:35 | 13時間20分 | EK795 | 空路、ダカールへ (コナクリ経由) <ダカール泊> |
| 3 | 2月22日 (木) | ダカール セネガル各地 | 9:30 9:45 10:45 11:30 12:30 | (~10:30) | | ○JICA事務所訪問 安全・健康ブリーフィング JICA事務所出発 ○日本大使館表敬訪問 ○昼食懇親会 (JICA事務所近くのレストラン) 終了後、解散 自由行動、隊員活動視察 |
| ~ | ~ | | | | | |
| 8 | 2月27日 (火) | ダカール集合 | | | | <ダカール泊> |
| 9 | 2月28日 (水) | ダカール 発 ※新空港「Blaise Diagne International Airport」発 | 18:05 | 9時間30分 | EK795 | 空路、ドバイへ (コナクリ経由) |
| 10 | 3月1日 (木) | ドバイ着 ドバイ発 羽田着 | 7:35 8:35 22:45 | 9時間10分 | EK312 | 空路、東京(羽田)へ 着後、通関手続き。その後解散 |

EK : エミレーツ航空

飛行機の発着時間などスケジュールが変更になる場合があります

セネガルへの旅

魚住 悦子さん：魚住 彰吾隊員（セネガル／2016-3／レスリング）のお母様

わくわくした想いと少々の不安を胸に、息子が活動の任務についたセネガルに行きました。ダカール空港に降り立ち最初に感じたのが赤い土の大地でした。活動の場所は、ダカールから車で1時間くらいのティエス市です。道中、道路の両端には果物や水、衣料を売っている人々がたくさんいました。日本では見かけない光景で少し驚きを感じました。

息子の活動はレスリングの指導です。今回はちびっ子レスリング教室の練習を見ました。息子は現地の人に“ゾンゴ”と呼ばれており、“ゾンゴのママがジャポネから来た”と満面の笑顔と握手で大歓迎してくれました。どの子どももクルクルと瞳を輝かせ練習をしていて、息子の小学生時代の練習風景を思い出し、時間や場所を超えてのスポーツの素晴らしさを実感しました。セネガルではセネガル相撲が有名ですが、レスリング競技の裾野がこの活動で子どもたちに広がってほしいと思いました。

レスリングの指導を手伝ってくれるセネガルの青年や語学の勉強のためホームステイを受け入れてくれたご家族にも、ゾンゴのママと歓待していただき、心が温くなる方々に出会えて、息子も私も幸せだと感謝しました。

滞在中は任地以外にも、広大な自然の中で動物の姿が見えるサファリ、限りなく広がる海とマングローブの森、高くそびえ立つバオバブの木、電気とかはないが生活を営む人々の村の様子などを訪ねることができました。

息子が JICA の活動に携わらなければきっと訪れる機会に恵まれなかった西アフリカのセネガル！大使館への表敬訪問や JICA 事務所の皆さまとの懇親会など、人生初の体験がよい思い出となっています。

この素晴らしい機会を下さった「視察の旅」に心から感謝いたします。



セネガル「視察の旅」へ参加して

渡邊 末吉さん：渡邊 希美恵隊員（セネガル／2017-1／数学教育）のお父様

2月20日、雪深い会津から、娘が協力隊員として活動している任国セネガルへ「視察の旅」に行ってきました。重い荷物と大きな不安を抱え、初の海外旅行です。

成田空港からドバイで乗り継ぎ、約29時間後、ようやくセネガルに到着。セネガル新空港に迎えに来てくれた娘の笑顔を見て、互いに一安心しました。

翌日、JICA事務所、日本大使館へ表敬訪問を行い、昼食後に娘のアパートへ向かいました。首都のダカールから娘の住むティエス市までは、約70km。大荷物だったため、タクシーでの移動となりましたが、現地の言葉でタクシー運転手と料金の交渉を行う娘の姿を見て、とてもたくましく感じました。

私たちが乗ったタクシーは、車体はデコボコ、フロントガラスにはヒビが入り、シートはボロボロ、ドアを閉めるのにはドアについている紐を引っ張るなど、日本のタクシーでは考えられない状態にとっても驚きました。乗っている間は、荒っぽい運転に車が壊れるのではないかとヒヤヒヤしっぱなしでした。また、道路沿線にはプラスチックとビニールのゴミが散乱、路上に出てくるヤギ、ロバや馬車、バイクタクシー、荷物を満載にした乗り合いバス、砂埃と土地の生活の匂い、道端の露店、市場の群衆など、某テレビ局の「こんなところに日本人」そのままでした。遠いアフリカの地へ来たことを実感しました。

次の日、娘が仕事をしている高校へ伺いました。高校では、子どもたちのほちきれるような笑顔と和気あいあいとした授業風景、親しげに話しかけてくる生徒達、娘がわずかな期間に現地に馴染んでいることがわかりました。



ティエス市の高校 教室にて



ティエス市の高校 中庭にて

また、娘がお世話になったホームステイ先へ挨拶に行き、日本の雪国から来ましたと言ったら、両手を交差して腕をさすり、「雪と聞いただけで鳥肌が立ち寒くなった」と大笑いしてきました。

夕方にアパートの前で子どもたちが遊んでいたの、
剣玉を持って子どもたちの輪の中に入り、剣玉遊びを
教えました。子どもたちは腕だけで球を上げ、皿に乗
せようとしたが、何回やっても乗らない。そこで娘が、
膝と腰を少し折り曲げ体全体を使うように指導すると、
10歳くらいの男の子が球を皿に乗せることができ、満
面の笑みを見せてくれました。学校帰り子どもたち
が集まり、順番を守りながら、目をキラキラさせて遊
び始めました。日本では帰路で遊ぶ子どもを見かける
ことがない中、なぜか自分たちの幼少期を思い起こし
ました。



ティエス市アパート前 剣玉

マルシェやマーケットでの買い物をした帰り道、馬車に乗りました。しばらく走っていたら、後方で大声が
するので振り返ると、後ろに乗せていた私たちの荷物が道路に散乱していました。住民の方々が物を拾い集め、
私たちを呼び止めてくれたのです。その後、今度は妻の帽子が風に飛ばされましたが、御者の青年に「ストッ
プ、ストップ」と言っても言葉が通じず、馬車は止まってくれません。妻は帽子を諦めましたが、バイクタク
シーの運転手が拾って届けてくれ、何事もなかったように走り去りました。地域住民の温かい親切に触れた一
瞬の出来事でした。

セネガルでは、他に、お土産の加工販売所や世界遺産（サルームデルタ・ゴレ島）の観光地を巡ることがで
きました。忙しい仕事の合間に、娘が計画してくれ、感謝感激です。

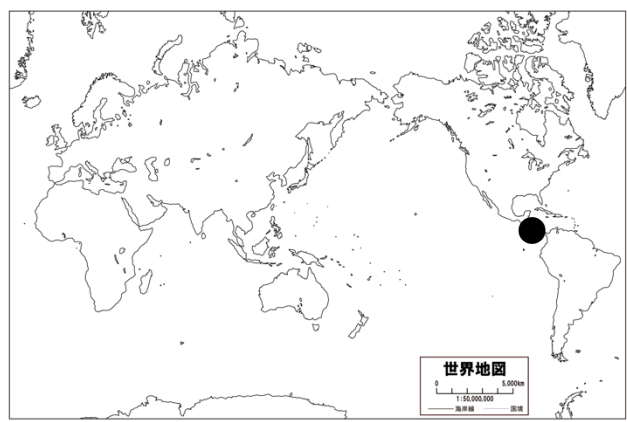
日本でも離れて暮らしていたため、この旅で多くの時間を共に過ごすことができ、娘の成長を直に感じるこ
とができました。任期終了まで、自分のできることを精一杯行ってほしいと思います。

最後になりましたが、この「視察の旅」を計画して下さった「協力隊を育てる会」の皆さん、JICA 事務
所の皆さん、旅行会社の皆さんに感謝申し上げます。特に引率していただいた藤中さんには細かなところまで
気を遣っていただき、大変お世話になりました。

一緒に参加されました皆さま、本当にありがとうございました。

協力隊員全員が健康で明るい笑顔と共に帰国されることを願っています。

ホンジュラス 11月15日～11月24日



| 2017ホンジュラスコース日程 | | | | | | |
|-----------------|---------------|--|---------------------------------|---------|--------|---|
| | 月日 | 都市 | 発着時間 | 所要時間 | 交通機関 | スケジュール |
| 1 | 11月15日 (水) | <事前研修会> 成田空港にて 東京(成田) 発 ヒューストン 着 | 13:30~15:00 17:15 14:00 | 11時間45分 | UA006 | 空路、ヒューストンへ 着後、ホテルへ <ヒューストン泊> |
| 2 | 11月16日 (木) | ヒューストン 発 テグシガルバ 着 | 9:43 12:48 15:00 17:00 | 3時間05分 | UA1540 | 空路、テグシガルバへ ○日本大使館訪問(予定) ○JICA事務所訪問(予定) <テグシガルバ泊> |
| 3 | 11月17日 (金) | ホンジュラス 各地滞在 | | | | 自由行動、隊員活動視察 |
| ~ | ~ | | | | | |
| 6 | 11月20日 (月) | | | | | |
| 7 | 11月21日 (火) | テグシガルバ集合 | 18:30 | | | ○懇親会(予定) <テグシガルバ泊> |
| 8 | 11月22日 (水) | テグシガルバ 発 ヒューストン 着 | 13:35 16:40 | 3時間05分 | UA1541 | 空路、ヒューストンへ 着後、ホテルへ <ヒューストン泊> |
| 9 | 11月23日 (木) | ヒューストン 発 | 10:20 | 14時間10分 | UA007 | 空路、東京へ |
| 10 | 11月24日 (金) | 東京(成田) 着 | 15:30 | | | 着後、通関手続き。その後解散 |

UA : ユナイテッド航空

飛行機の発着時間などスケジュールが変更になる場合があります

--クワトロ・ドス・ドス・422---

遠藤 あけみさん：加藤 鐘光隊員（ホンジュラス／2015-4／音楽）の叔母さま

【Prologue】

ひよんなことから、甥のいるホンジュラスにその母である義姉と共に行くことになった。
この Honduras(ホンジュラス)なる国がどこにあるのかすら、世界地図が微妙な位置関係を示している錆びついた頭をフル回転させる事から始めたい。

時は今から遡る事、約二年前。甥が海外青年協力隊の隊員としてホンジュラスに行く事になった。そもそも彼がなぜ志願したかという事から・・・

我が娘は平成 19 年度 4 次隊としてエジプトに出向いている。それを知っていた甥は大学を出て漠然と就職したのが残念な結果となり、相談に来た。迷わず私は JICA に応募してみなさいと喝！かなり高齢な両親の初めての子、それも男子の一人っ子。祖母もいる家庭でもあり少々世間を甘く見ている部分は否めない。しかし幸いな事に音楽隊員として現地へ派遣されるに至ったのである。そんな彼の任国ホンジュラスはメキシコの下方、中米のカリブ海の真下、横に細長い小さな国だ。マヤ文明時代の遺跡もあるというのも非常に興味をそそられた。

「視察の旅」が決定したら、未だ海外渡航歴ゼロの義姉にも体験させてあげたいと、取り敢えずパスポートだけは取っておいてとお願いした。初海外が世界有数の危険な国と称されているホンジュラスというのも「視察の旅」ならではだ。私自身も個人旅行ではまず訪れないであろうその国の、マイナーなイメージは払しょくされてはいなかった。

しかし、見事に(良い意味で)裏切られた。食事は美味しいし、人々はフレンドリー、そして気候は温暖で物価も比較的安定。何よりホンジュラスという国に古き良き時代の日本の原風景を観た。

【Monologue】

2017 年 11 月 15 日夕刻、成田を飛び立った飛行機は transit のためヒューストンへ。時差の関係でホテル着は 15 日の夕刻。次の日、目的地であるホンジュラス首都テグシガルパのトンコンティン国際空港に。この空港がやはり世界で二番目に危険な空港と称されている。滑走路距離が少ない上に端の一方が斜面になり、それに添い着陸するので、無事着陸できるとパイロットに向けて自然と機内から拍手が起きるのだ。さすがに私も手に汗をかいていた。ここまでおよそ 15 時間の旅。入管手続きを済ませ、無事に降り立った初ホンジュラスのふわっとした暖かい空気を胸いっぱい吸い込んだ。



街並み・ランタン

在ホンジュラス日本国大使館と JICA ホンジュラス事務所への表敬訪問を控え、一行は宿泊ホテルに。無事に予定を終わらせて戻ると甥が近隣のラパス県より到着しており、暫くぶりの彼は心身共に逞しくなっていた。

渡航する事が決定してからは、彼と密に LINE 等で連絡を取り合い、フリータイムの予定などを話していたので、これから先は彼に任せてホンジュラスのイージーな時間を満喫。その日は3人で同室に泊まり、母と息子の会話を男子のいない私は新鮮な思いで聞いていた。

朝食に舌鼓を打ち、これから始まる未知の世界に思いを馳せていたら、今からタクシーを呼んで自分の赴任先、職場に行くよ！と。そうか！タクシーね、ここでは安全対策として移動は全てタクシー(それも信頼のおける推薦タクシー)を使うのだった。車窓を楽しみながら走る事2時間くらい？テグシガルパの隣ラパス県カネ市着。鐘光(カネミツ)君の赴任地がスベルは違うけど CANE 市！偶然だが。大きなトランクは友人宅(自動車整備)に預かってもらい身軽に昼食を摂りに行き、ここで友人と落ち合う。このレストラン内装も可愛くて働いている人々も人懐っこいし、なんとも日本人好みの味付け！美味で非常に満足。



喫茶店にも立ち寄ったが、コーヒーなど安価でびっくり。喉も潤い満足したところで彼の職場近くに唯一あるホテルへ。このホテルは日本からの私達の為にシャワーヘッドを変えてくれたとか。お湯も出た。綺麗な遠いホテルにしようか迷っていたらしい彼に、変えたから使つてと。まあ、長期滞在の簡素なモーテルのようだ。これも旅の醍醐味である。

荷物を整理しお土産をベッドに散乱させ、あれこれ迷い、彼の配属されている CANE 市役所・スペイン語で(alcaldia)へ向かう。びっくりしたのは規律的に日本のお役所とは全く雰囲気異なる光景であった。一旅人として訪れたら、看板を掲げていなければそこが市役所とはわからなかったであろう。彼はそこで提供された場所にて、市民にトランペットやサクソといった管楽器を教えていた。数人の生徒を前にした彼の姿は、何とか形になっていて頼もしい限りであった。

いよいよ、ホンジュラスのパパとママに会う。双方とも教師というご家庭にホームステイしているようだ。最初は食事つきでの契約だったが日本のように料理レパトリーがないホンジュラス、次第に飽きが来て自炊するといひ、食事をお断りしたらしい。我々のように短期滞在なら美味しいで済むが、二年間、同じ料理は・・・難しいかも。家族の方たちもさすがラテン系！陽気で楽しい人たちであった。次の日、ホンジュラス定番の breakfast をご馳走になった。室内にもキッチンはあるが外での炊き出しはメイドさんのお役目、洗濯場とか懐かしい雰囲気である。

キリスト像(ピカチヨ)を見せてもらい一泊二日の彼の住まいと職場訪問は終わりを告げた。ピカチヨには東南アジアでいうトゥクトゥク(三輪バイク様式)で往復。柔道で来ている隊員の方にもお会いして、なかなか有意義な時間を過ごさせて頂いた。



キリスト像

再び、一路テグジカルパに向かう～もちろん頼んだタクシーで。利便性の良いインターコンチネンタルにチェックインし、お土産を觀たり、寿司の夕飯を楽しんでいるうち夜は更けていった。そのホテルの RoomNo.が 422 ス페인語数字標記で(cuatro.dos.dos)。

次の日は彼が隊員として、任国ホンジュラスに到着後、語学研修に通った地のホームステイ先に。そこは車で小一時間ほどのところであり、玄関を入るとすぐに品の良い家具等が並ぶ、女系家族のアットホームである。曾祖母、祖母、母、娘～たちがキッチンでゆったりと昼食の準備。男性の影はないが、ほどなくして数人がやってきた。家族構成を聞いても、甥はよく分からないと・・・まあ、親戚には違いない。2テーブルに別れ食事となったが、盛り付け・味付けどれも申し分ないくらい素敵。食事を終えた頃、庭を案内された。

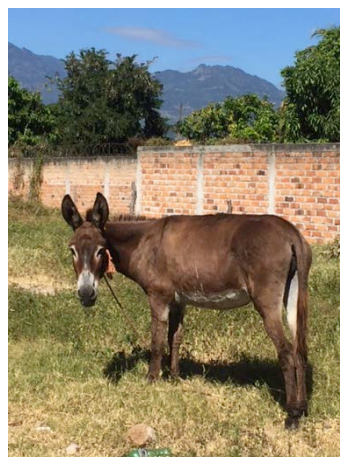
そこに【日本の白い梅】とスペイン語で言われている木があった。が、よく見てみるとそれは梅ではなくビワの木だ。小さいビワがたわわに実り、さながら梅が咲いているように見えるのだろうか。そして、圧巻は手のひら大のレモン、普通に裏庭で自生している。隼人ウリと日本では命名されているものもあったが、熱帯地方が原産らしいので日本独自ではなさそうだ。こうして、地球の裏側で日本にあるものを見つけた時の不思議感。

【Epilogue】

その地からほど近くの土産物店に行ったり、コーヒーを飲んだりしていても、甥っ子は常にバッグ気を付けて！と目をあちらこちらに向けていた。そうか・・・ここは安全な日本ではない！と気づかせてくれる。ホテルの警備員も銃を腰に携帯していたし、空港職員もそうであった。銃を持つ姿に慣れていない私を含む多くの日本人は、そんな姿に驚きを隠せない。だが、そうしなければ犯罪が多発するのを防げないのであろう、この国の現実を目の当たりにして悲しい思いにもなった。とても陽気なホンジュラスの人々、マヤ文明の名残を受け継ぎ、レンカ族、チオルテイ族といった先住民とも共存し、長い植民地時代・戦争時代を生き抜いた人々の現在、屈託のない笑顔に救われながら地球の裏側、ホンジュラス「視察の旅」のお陰で訪れる事が出来、よかったと思う昨今である。



集合写真



ロバ

ホンジュラス「視察の旅」に参加して

高山 寿美子さん：高山 唯華隊員（ホンジュラス／2016-3／保健師）のお母様

世界で一番治安の悪い国と言われている所に行く不安はありましたが、娘がいるので「視察の旅」は参加したいと思っていました。片道 2 日間かけて到着した空港では、元気に手を振り、娘が待っていてくれて安堵しました。

当日は JICA 事務所と日本大使館へ表敬訪問。移動中にたくさんの鉄条網の塀と、鉄格子の窓の家や店があり、ライフルを持つ警官もいて、首都の恐さを垣間みました。

2・3 日目は娘の任地ダンリ市へ。まずは仲間の隊員にも同行してもらい、幼稚園を訪問。年長組から義務教育が始まり、保育時間は午前と午後の二部に分かれているそうです。次に娘の職場である県保健事務所へ。医療関係の職員の方々に暖かく迎えていただき、私たちにも気軽に声をかけてくれました。皆に囲まれ溶け込み、厳しい環境でも彼女なりに努力している姿を見て嬉しく思いました。



保健事務所の医療関係…皆さんと

妊婦の家を見学。幼さの残る 10 代の妊婦が数人、出産を控えていました。日本では晩婚化による少子高齢化が進み、核家族化や都市化による共同体意識の希薄化が背景としてある中、対照的にこの国では思春期世代の妊娠の多さが問題になっていて、特に貧困層に多いようです。そこを訪ねてみると砂利道で両端にはゴミが散乱し、牛・馬・にわとりもいました。生活環境は豊かではなくても、子どもたちが走り回り、人々が協力し合い、笑顔で明るく暮らすこの場所には人間らしさを感じました。その後シスター 2 人に案内していただいた高齢者施設は、介護保険制度がないこの国で、教会が無料でサービスしていて、中には道路に捨てられていた高齢者も保護しているそうです。明るい利用者さんもいました。

4 日目はバジェデアンヘルスへ。カラフルで活気ある街でおしゃれなカフェやおみやげ品が多く並ぶ中、頭に抱えた土産物売りの子どもたちを多く見かけました。

職場の同僚宅、当時と語学学校の時のステイ先、突如招待してくれた隊員仲間のホストファミリーのお宅では、熱いハグや手料理でそれぞれ歓迎され、色々とお楽しみさせていただきました。娘には有意義で貴重な時間を一緒にいてくれたことにありがたく、ここでの残りの時間も頑張ってくれることを願っています。

最後に「視察の旅」と一緒に参加した皆さま、引率の舛本さん、この旅の関係者の皆さま、テグシカルパで観光地を巡ってくれた現地の親切なタクシーの運転手さんに心より感謝しております。



街で出会った子どもたちと

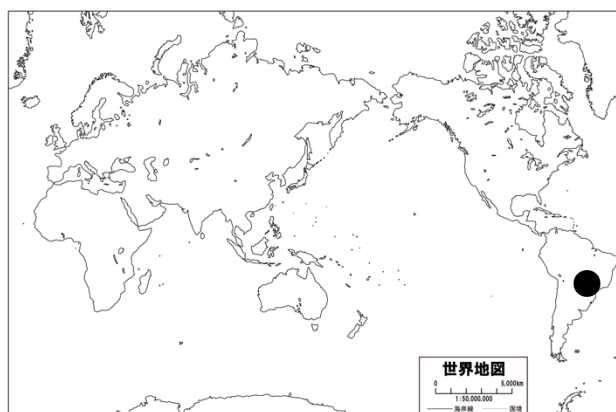


ホストファミリーのお家で



家の前で雑談する
お母さんたちと

パラグアイ 11月15日～11月24日



2017パラグアイコース日程

| | 月 日 | 都 市 | 発着時間 | 所要時間 | 交通機関 | スケジュール |
|----|---------------|---|--|--------------------|-----------------|-------------------------------------|
| 1 | 11月15日 (水) | <事前研修会> 成田空港にて 東京 (成田) 発 デトロイト 着 デトロイト 発 | 14:30～16:00 17:50 15:25 20:17 | 11時間35分 10時間28分 | DL276 DL053 | 空路、デトロイトへ 空路、サンパウロへ |
| 2 | 11月16日 (木) | サンパウロ 着 サンパウロ 発 アスンシオン 着 | 9:45 22:15 23:25 | 2時間10分 | G37642 | 空路、アスンシオンへ <アスンシオン泊> |
| 3 | 11月17日 (金) | パラグアイ各地 | | | | 自由行動、隊員活動視察 |
| ～ | ～ | | | | | |
| 6 | 11月20日 (月) | | | | | |
| 7 | 11月21日 (火) | アスンシオン集合 | 16:00 18:30 | | | ○JICA事務所訪問 ○懇親会 <アスンシオン泊> |
| 8 | 11月22日 (水) | アスンシオン 発 サンパウロ 着 サンパウロ 発 | 13:30 16:30 22:50 | 2時間00分 9時間42分 | G37481 DL104 | 空路、サンパウロへ 空路、アトランタへ |
| 9 | 11月23日 (木) | アトランタ 着 アトランタ 発 | 5:32 11:11 | 14時間34分 | DL295 | 空路、東京へ |
| 10 | 11月24日 (金) | 東京 (成田) 着 | 15:45 | | | 着後、通関手続き。その後解散 |

DL : デルタ航空、G3 : GOL TRANSPORTS AEREOS

飛行機の発着時間などスケジュールが変更になる場合があります

パラグアイ「視察の旅」を終えて

菊池 初美さん：菊池 梨奈隊員（パラグアイ／2015-4／看護師）のお母様

2015年度4次隊として娘が地球の裏側パラグアイに出発したのは、2016年3月のことでした。早速11月実施予定の「視察の旅」に申し込んでみようと思っていたところ、主人が大病を患ってしまい諦めざるを得ませんでした。その年は家族連絡会に参加させていただきました。隊員の家族や、先輩隊員、「視察の旅」に参加された方のお話をお聞きし、娘の気持ちに少し近づけた気がしました。日頃SNSでの連絡はとれていても「どんな場所でどんな生活をしているのか？」不安は解消されません。主人のことを考えると飛行機での長旅には正直不安もありましたが、体調を見ながら思い切って2017年度の「視察の旅」の申し込みをし、私たちは娘の住むパラグアイへ行くチャンスに恵まれました。

長時間のフライトに加え、乗り継ぎの待ち時間の長さは、主人にとって大変過酷であったと思いますが、2回の乗り継ぎをして、アスンシオンの空港で娘と20ヶ月ぶりに再会した時は涙が止まりませんでした。今までに見たことのないほど日焼けした彼女に会ったとき、20ヶ月という月日の経過を改めて実感しました。

滞在中は、任地であるロマピタ病院を訪問させていただきました。院長先生はじめ職員の皆さんに歓迎され、院長先生自ら病院内外を案内してくださいました。首都にある公立病院とのことですが、やり手の院長先生が手腕を振るい予算措置され、短期間で完成したというプレハブ小屋？を利用した検査室や相談室、色々お話をする中で、日本の病院とはかけ離れていることを実感しました。病院内を歩いていると職員の方々が「梨奈のお父さんとお母さんが来ているの？」などと気軽に声をかけてくれているのだと娘から聞き、何だかとても安心しました。



ロマピタ病院

また、首都から車で5時間ほど離れた前任地にも連れて行ってもらいました。そこではホームステイ先の家族が温かく迎えてくれました。首都とは別世界の大自然に満ち溢れたのどかな場所でした。現地語であるグアラニー語で皆さんと楽しそうに離している娘の姿を見て、本当に頼もしく嬉しく思いました。そして今回の「視察の旅」で何より感銘を受けたのは、ロマピタ病院の同僚の看護師ご一家が、娘を家族同様に思ってくださっていたことです。私たちの到着が夜中にもかかわらず、娘と一緒に空港で出迎えてくださいました。また、私たちを自宅に招いてくださり、「梨奈は私の娘よ、だからこの家は梨奈の両親の家でもあるの」と言って、パラグアイ流BBQ（お祝いごとには必ず食べるのだそうです）をご馳走してくださいました。親しくお話する中で、「お母さん、梨奈を連れて帰りたいでしょ？でも、あと少しだからね！クリスマスもお正月も一人にしないから心配しないで」とも言ってくれました。また帰国時には、家族みんなで空港へ見送りに来てくれたグラディスさんご一家。縁もゆかりもない外国人である私たち家族のために、こんなにも親切にいただき、感謝の言葉も見つかりません。ただただ感謝です。

“井の中の蛙大海を知らず” 今回の「視察の旅」が実現しなければ、こんな素敵な出会いや経験もできませんでした。そして、“百聞は一見に如かず”パラグアイで娘と過ごした日々は私たちの夫婦の財産となりました。

娘のパラグアイでの生活は、まずスペイン語に加え、グアラニー語の大きな壁を乗り越えることから始まり、幾度か訪れたらう苦難もパラグアイの方々のご支援があったからこそ乗り越えることができ、今日までたどり着くことができたのだと思います。これらの経験はきっとこれからの彼女の人生の原動力となることと思います。任期はあとわずかとなりましたが、最後まで精一杯パラグアイの人々のために頑張っしてほしいと思います。

最後になりましたが、同行してくださった大田原さん、對馬さんご一家、JICA 関係者の皆さま、大変お世話になりました。

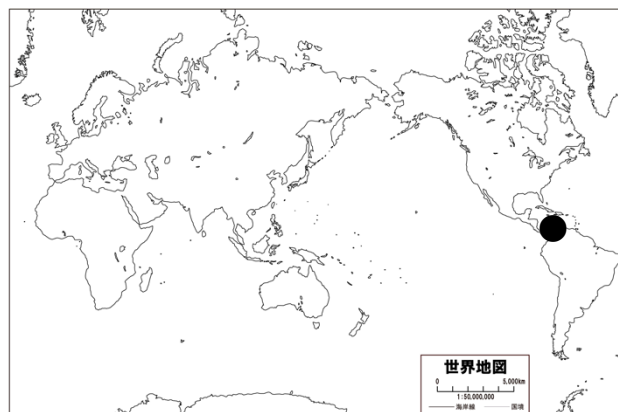


グラディス家にて



イウ地区

ニカラグア 2018年2月7日～2月16日



ニカラグアコース日程

| | 月日 | 都市 | 発着時間 | 所要時間 | 交通機関 | スケジュール |
|----|--------------|--|---|-------------------|-----------------|---|
| 1 | 2月7日 (水) | <事前研修会> 成田空港にて 東京(成田) 発 ヒューストン 着 ヒューストン 発 マナグア 着 | 13:30~15:00 17:15 14:00 18:05 21:20 | 11時間45分 3時間15分 | UA006 UA1421 | 空路、ヒューストンへ 空路、マナグアへ <マナグア泊> |
| 2 | 2月8日 (木) | マナグア | 9:00 | | | ○JICA事務所訪問 所長との昼食会、市内観光 自由行動、隊員活動視察 |
| ~ | ~ | ニカラグア各地滞在 | | | | |
| 6 | 2月12日 (月) | | | | | |
| 7 | 2月13日 (火) | マナグア集合 | 14:00 15:00 18:30 | | | ○JICA事務所報告 ○日本大使館表敬訪問 ○懇親会(服装自由) <マナグア泊> |
| 8 | 2月14日 (水) | マナグア 発 ヒューストン 着 | 13:50 17:10 | 3時間20分 | UA1433 | 空路、ヒューストンへ 着後、ホテルへ <ヒューストン泊> |
| 9 | 2月15日 (木) | ヒューストン 発 | 10:30 | 14時間00分 | UA007 | 空路、東京へ |
| 10 | 2月16日 (金) | 東京(成田) 着 | 15:30 | | | 着後、通関手続き。その後解散 |

UA: ユナイテッド航空

飛行機の発着時間などスケジュールが変更になる場合があります

充実したニカラグア「視察の旅」10日間

黒川 和子さん：黒川 奈央隊員（ニカラグア／2016-2／助産師）のお母様

「行ってらっしゃい。体にはくれぐれも気をつけて、元気に活動できることを祈ってるね。」

成田空港で娘を見送った後は、インターネットのおかげで娘と時々連絡は取れていましたが、少しずつ行ってみたいと思うようになり、夫婦で参加いたしました。

成田空港から飛行機を乗り継ぎ、首都マナグアに無事到着。まず JICA 事務所にて、高田事務局長よりニカラグアの歴史、どういう国なのか、また日本との関わり等の説明を受けました。これから視察するにあたり、大きく役立った、大切なオリエンテーションでした。

娘は助産師として活動しているため、最初に現場の医療スタッフ、またお世話になっているホームステイ先の家族を訪問しようと、JICA 事務所がある首都マナグアから活動現場のリバスへ向かうためバス停へ。バス停は活気にあふれ、周りはニカラグア人ばかり。着いて間もない私たちは慣れない雰囲気に対し緊張気味でいると、「鞆をしっかり持って！」と私たちをサポートする娘。普段の交通手段とは言え、たくましさで驚きに「うん！」と頷き、着いていく私たちでした。バスはエアコンも無く、窓が開いたまま走り出しました。しばらくすると窓の外は信号も無く、壮大な景色に馬、牛、鶏が自由に飼われておりました。風を受け、少しずつリバスを感じワクワクしながら、2時間半後到着しました。

日常会話はスペイン語。活動現場医療スタッフに挨拶くらいはスペイン語でと練習しましたが、緊張して上手く伝えることができない私たちを、温かくケーキとジュースで歓迎してくださり、手作りのお土産までいただきました。その後、ホームステイ先を訪問、こちらでも昼食を用意して披露してくださり、和やかな時間を過ごすことができました。

帰国前日は全員で正装をして、日本大使館へ表敬訪問する貴重な経験をさせていただきました。現地に足を運び、見て、娘を皆さまに温かく受け入れてもらっていることの安心と感謝を知ることができたとともに、私たち家族の良い思い出ができました。今回添乗していただいた帰国隊員の白幡さんに随分お世話になったお礼と共に、今後のニカラグアの実現と、協力隊を育てる会のますますのご活躍を願っております。



2017 年度実績

隊員の活動や協力隊事業についての感想

添乗員・同行者一覧

関係会社一覧



隊員の活動や協力隊事業についての感想

● ガーナ

サバンナの大地で娘が現地の方々に溶け込んでいる様子に安心すると同時に、たのもしく思いました。このような経験ができることは、個人的にも、今後の日本にとっても大変貴重な機会なのだと実感できました。同期隊員のはからいで、小学生におはなし会をさせていただき機会をいただきました。絵本やわらべうたやお話など、一部日本語も交えてですが、子どもたちは積極的に言葉を口にして楽しんでくれたように思います。また、子どもたちの目の良さ、日本のわらべうたを瞬時にガーナ調に変えてしまうリズム感の良さにもびっくりしました。先生のさりげないサポートのおかげもあり、1時間20分があっという間に感じられました。



ICTを利用して海外にいるとは思えないほどの情報交換を、家族でしていましたが、やはり百聞は一見に如かず、行ってみなければわからないことも多いですね。ガーナの気候、環境、開発の様子など実体験して、JOCV（青年海外協力隊）の皆さんの奮闘ぶりや娘の活動への理解が深まりました。それを支えて下さっている JICA 事務所や勤務先の皆さま方、協力隊を育てる会のスタッフの方々に感謝申し上げます。

● カメルーン

「視察の旅」に参加できて、娘と一緒に久しぶりに過ごすことがとても楽しかったです。話では聞かされていましたが、実際目で見て体験して、本当にすごく頑張っていた姿に涙があふれた日もありました。現地では、たくさんの人たちに私を紹介してくれて、カメルーンの服をプレゼントしていただき、国境を越えたコミュニケーションを上手にしていた姿を頼もしく感じました。今回私がカメルーンに来たことで、今まで娘のことを理解できなかった部分も理解しなくてはと思える気持ちに変わるきっかけになり、感謝しております。

娘がアフリカに行くことになった時もさほど心配ではありませんでした。苦勞したり、何かを乗り越えてこそ喜びがあると思いました。日本にいたら絶対に体験することのできないような、貴重で素晴らしいたくさんのごことを日々体感し、体得し、彼女の今後の人生の宝となるのだろうと思います。私も娘のおかげでアフリカ・カメルーンへ旅するという、人生の中でも貴重で珍しい、素晴らしいことを体験させていただきました。母娘にとって忘れられない思い出となりました。隊員ばかりではなく、親も日本中に仲間ができました。ずっと前からの知り合いのように、同じ思いを語り合うことができました。

娘がカメルーンに行くことが決まったときから、私も「様子を見に行けたらいいな」とは思っていたのですが、一人で行く勇気もなく、今回の「視察の旅」がなければ、実現しなかった旅でした。アフリカの一国であるカメルーン、その中の首都ヤウンデ、そして娘の任地を見ることができました。娘がしっかりと現地の方とコミュニケーションをとる様子は、心強く頼もしく感じ、こちらへ来て、ものすごく成長したと思いました。周りのカメルーンの人々もとても良くして下さり、本音でトークできる程の仲の方も娘にはいて、コミュニケーション能力の高さに我が子ながら感心しました。私自身も貴重な体験をさせていただき、日本にいる時より、心が伸び伸びとしたのを感じました。今回の旅をきっかけに、自分も語学を学び、海外へ旅行はもちろん、住んでみることもできればいいなと夢が広がりました。



● ホンジュラス

一年ぶりに我が子と会いました。何よりも元気に過ごしていたので、安心しました。そして私の予想以上に、現地の職場の皆さんと交流し、伸び伸びと仕事している様子を垣間みることで、大変嬉しく思います。街を歩いているとたくさんの方々から声をかけられ、スペイン語で対応している娘を見て、たった一年でこれだけのコミュニケーションを取ることができるのかと感心します。現地の皆さんとの会話を通じて、情報を得て、それをまた仕事に活かしている様子でした。

● パラグアイ

今までに見たことがないほど日焼けし、現地の同僚の方々と接している姿を見て、肩の力が抜けました。娘の様子を聞くことができ、充実した日々を過ごすことができました。空港で別れ際に、「心温かいパラグアイの人たちのお役に立てるよう、最後まで頑張る」との娘の言葉に、人としての成長を感じることができました。

● マラウイ

皆さんのがんばっている姿にただ驚くばかりでした。現地の人に溶け込み、現地の生活に慣れるまでには、大変の努力があったことと思います。様々な隊員の方々の表情が明るく、たくましく、そのことがこの旅のなによりの土産です。現地の方々に寄り添い、助けられることもたくさんあると思います。お互いに認め合って、活動が少しでも実を結べますよう、祈ります。どうぞお体に気をつけて任期を終え、無事に帰国して欲しいです。

子どもの日常が見れて、良かったと思う。今までは漠然とした不安だったものが、この目で見て安心に変わった部分と、逆に目で見てしまったために、危険がわかり心配事が増えた部分もある。でも参加して良かったです。

● エチオピア

娘の任国を見たい、娘がいなければ絶対に行くことのない国だからと参加しました。はじめは、家族はあまり乗り気ではなく、娘から「お母さん、一人でもおいでよ」と言われていましたが、せっかくならと仕事と学校の都合もなんとかつけられ、家族で参加できたのは、とても貴重な思い出となりました。なんとかアムハラ語と英語で会話する姿に、ここまでなるには口には出さなかった苦労もあったんだろうなと感じました。日本食をもっと持ってきてあげればよかったとも思いました（笑）。

異国の地にて、辛いことも多くあるはずなのに、元気に（いつもと変わらず）振る舞う娘に感心しました。青年海外協力隊であるその覚悟には頭が下がります。再度、家族としての認め合いと未来へのお土産をもらった気がしています。



● ニカラグア

今まで娘が送ってくれた写真をすべてプリントアウトして、わかったつもりでいましたが、『見る』のと『観る』『肌で感じる』ことの差に驚きました。娘の仕事は他の隊員の方との悩みが大きく違い、こんなにも何も無い状況で試行錯誤している様子がよくわかり、もう本人には「頑張ってね」とは言いません。とにかく安全に健康に気をつけて、たくさんコミュニケーションをして帰っておいでねと祈っております。これからも多くの若者が海外の任地で協力できることを願っております。どれも有意義な旅をありがとうございました。

「視察の旅」は、親・子どもにとって良い刺激となり、お互い今後の生活に役立てられることと思います。何より安心を得られたこと、周りの人々に支えられ生きているんだということが実感できました。今後もこのような機会を親御さんに作っていただければと思います。

● ベナン

農家さんと熱心に話し合っている姿がとても印象的でした。農家さんからも育てられ、鍛えられているように感じ、たくましく成長している様子が伝わってきました。専門を現地でどう活かすか、農家さんと互いに試行錯誤しながら、あと1年頑張っていくことだと思えました。



任地に着いたばかり、かつ JICA として初めての村ということで心配していましたが、思った以上に元気で村の人たちにも親しまれているようで安心しました。隊員たちも良く連絡を取り、助け合っていることがよくわかりました。親に心配をかけてはいけないと思い、元気にふるまっている…もあるのではとつい思ってしまいました。きっと色々な苦労があるのだと思います。

青年海外協力隊は「若さ」「情熱」が支えてくれているものとも思い、年を重ねてしまった自分にとってまぶしく感じる存在ではありますが、もっともっと諦めず、たじろがず、前進する気概を求めたいと思います。この2年間の経験は決して無駄ではないと信じていますが、ここベナンにいる日本人として、この国にいた証を残すという気持ちを、もっともっと求めたい気持ちも正直ありました。この旅が我が娘だけではなく、隊員の皆さんの小さな一歩を踏み出す勇気を与えることを望みます。そんな厳しい目線を持ちつつも娘を思い切って送り出してよかった！この気持ちを強く持たせていただきました。

●セネガル

活動を自分の目で見て、今まで国内での生活しか経験していなかった息子が、自分で考え、JICA 事務所の方や他の協力隊員と助け合い、支えてもらい、活動の方法を組み立て、何とか実行しようとしている姿に感動しました。またセネガルの方も日本人を温かく親切に受け入れて下さり、見守ってくれる姿に、ありがたいと感謝しました。なんとか任務を少しでも良い方向で、結果を残せるように日本から応援したいと感じました。

添乗員・同行者一覧

| | 区分 | 氏名 | | コース | 協力隊経験 |
|---|-----|--------|------------|--------|-----------------|
| 1 | 同行者 | 大久保 哲 | ガーナ帰国隊員 | ガーナ | 2015-2/観光 |
| 2 | " | 梶田 真緒 | カメルーン帰国隊員 | カメルーン | 2015-1/観光教育 |
| 3 | " | 舩本 才智 | ホンジュラス帰国隊員 | ホンジュラス | 2015-1/数学教育 |
| 4 | " | 大田原 英介 | パラグアイ帰国隊員 | パラグアイ | 2015-1/コミュニティ開発 |
| 5 | " | 鈴木 進一 | フィリピン帰国隊員 | マラウイ | 1977-1/稲作 |
| 6 | " | 三上 歩美 | エチオピア帰国隊員 | エチオピア | 2010-3/幼児教育 |
| 7 | " | 白幡 祐子 | ニカラグア帰国隊員 | ニカラグア | 2015-2/作業療法士 |
| 8 | 添乗員 | 根本 幸恵 | 株式会社 道祖神 | ベナン | |
| 9 | 同行者 | 藤中 翔太 | セネガル帰国隊員 | セネガル | 2014-1/コミュニティ開発 |

関係会社一覧

| 会社名 | 住所 | 担当者 |
|------------------------|----------------------------------|------------------------|
| 株式会社 道祖神 | 東京都品川区西五反田 7-24-4 KUビル7階 | 久世 清重 |
| 株式会社 トラベル日本 | 東京都中央区京橋 2-4-12 京橋第一生命ビル4階 | 鈴木 篤 中嶋 恵 |
| 菱和ダイヤモンド航空サービス 株式会社 | 東京都千代田区神田神保町 2-2 波多野ビル6階 | 児玉 直哉 |
| 株式会社 阪急阪神ビジネストラベル | 東京都港区芝浦 3-9-1 芝浦ルネサイトタワー3階 | 田辺 正徳 内山 郁子 青木 健 |
| 株式会社 ブラジル旅行社 | 東京都港区新橋 2-12-1 ランディック第3新橋ビル2階 | 貫井 崇之 |

年度別実績

県別参加者数

| 都道府県 | 1998 | 1999 | 2000 | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 |
|-------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 北海道 | 6 | 11 | 8 | 1 | 4 | 9 | 1 | 5 | 6 | 7 | 10 | 12 | 4 | 5 | 1 | | 4 | 4 | | 4 |
| 青森県 | 1 | 1 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | | | | | | |
| 岩手県 | 2 | | 2 | | | | 2 | 2 | 3 | 2 | | 1 | 4 | 1 | 3 | | | | | 4 |
| 山形県 | 1 | 5 | 2 | | 3 | | 2 | 1 | 4 | 3 | 4 | | 2 | | 4 | | | | 1 | 1 |
| 秋田県 | 3 | 5 | 7 | 1 | | | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | | | 1 | | | | | | |
| 宮城県 | 5 | 7 | 2 | | | 3 | 1 | 4 | | 5 | 4 | 5 | 4 | 1 | 3 | 2 | 3 | | | |
| 福島県 | 5 | 4 | 5 | | | 1 | 2 | 5 | 1 | | 2 | 3 | 6 | | | | | | 1 | 4 |
| 北海道／東北地方小計 | 23 | 33 | 28 | 2 | 7 | 14 | 12 | 19 | 17 | 21 | 22 | 23 | 22 | 10 | 11 | 2 | 7 | 4 | 2 | 13 |
| 東京都 | 26 | 28 | 20 | 10 | 25 | 27 | 12 | 20 | 15 | 28 | 32 | 11 | 21 | 9 | 7 | 6 | 11 | 8 | 8 | 15 |
| 神奈川県 | 11 | 10 | 15 | 6 | 16 | 15 | 13 | 31 | 17 | 13 | 20 | 21 | 10 | 10 | 7 | 1 | 2 | 12 | 6 | |
| 千葉県 | 10 | 17 | 5 | 3 | 9 | 10 | 9 | 18 | 18 | 9 | 12 | 6 | 11 | 6 | 4 | 3 | 1 | 4 | 6 | 4 |
| 茨城県 | 2 | 12 | 7 | | 5 | 1 | 5 | 10 | 2 | 3 | 5 | 3 | 1 | | 4 | | | 1 | 2 | |
| 栃木県 | 11 | 8 | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 1 | 4 | 5 | 3 | 2 | 1 | | | | | | 1 |
| 埼玉県 | 15 | 18 | 17 | 5 | 6 | 3 | 7 | 23 | 3 | 31 | 7 | 7 | 14 | 8 | 1 | 1 | | 2 | 4 | 5 |
| 群馬県 | 3 | 2 | 6 | | 4 | 2 | | 7 | 2 | 1 | 1 | | 4 | | | | | | 1 | |
| 関東地方小計 | 78 | 95 | 71 | 25 | 65 | 59 | 46 | 110 | 58 | 89 | 82 | 51 | 63 | 34 | 23 | 11 | 14 | 27 | 27 | 25 |
| 新潟県 | 4 | 9 | 10 | | 2 | 2 | | 7 | 1 | 2 | 5 | 1 | 2 | 1 | | | 2 | | 2 | |
| 富山県 | 3 | | 1 | 1 | 7 | 3 | 4 | | 3 | 2 | 2 | 2 | | | | | | | | |
| 石川県 | 1 | 2 | 4 | | 2 | 2 | | 4 | | | | 2 | 4 | | 1 | 3 | | 3 | | 2 |
| 福井県 | 3 | 5 | | 1 | 3 | | | | 2 | 1 | 2 | | 1 | 5 | 2 | | | | 1 | |
| 長野県 | 11 | 8 | 2 | 6 | 8 | 4 | 5 | 7 | 11 | 14 | 9 | 1 | 11 | 7 | 5 | 3 | 2 | 5 | 2 | 4 |
| 山梨県 | 1 | 3 | | | 2 | | | 2 | 4 | 8 | 3 | 6 | 3 | | 2 | 2 | | | | |
| 静岡県 | 15 | 10 | 12 | 3 | 6 | 14 | 15 | 9 | 7 | 5 | 2 | 16 | 6 | 2 | 5 | 3 | 4 | 3 | 2 | 2 |
| 愛知県 | 17 | 26 | 8 | 14 | 15 | 9 | 9 | 13 | 13 | 8 | 11 | 11 | 14 | 10 | 4 | 6 | 8 | 6 | 1 | 1 |
| 岐阜県 | 3 | 3 | 5 | | 3 | 6 | | 6 | 4 | 4 | 9 | 2 | 2 | 2 | 4 | | | | 1 | |
| 甲信越地方小計 | 58 | 66 | 42 | 25 | 48 | 40 | 33 | 48 | 45 | 44 | 43 | 41 | 43 | 27 | 23 | 17 | 16 | 17 | 9 | 9 |
| 滋賀県 | 5 | 1 | 4 | 3 | 5 | 2 | 4 | 5 | | 3 | 3 | 5 | 2 | 1 | 1 | 1 | | | 2 | |
| 大阪府 | 14 | 10 | 14 | 4 | 6 | 5 | 4 | 12 | 9 | 13 | 10 | 10 | 7 | 13 | 5 | 3 | 5 | 9 | 1 | 7 |
| 京都府 | 1 | 7 | 2 | 6 | 6 | 5 | 2 | 6 | | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 3 | | 6 | 2 | | 1 |
| 奈良県 | 4 | 2 | | | 2 | 3 | 2 | 3 | 5 | 1 | 4 | | 6 | 3 | 1 | | 1 | 1 | | |
| 和歌山県 | | 1 | | | | | 1 | 1 | | | | 2 | | | 2 | 2 | | | 1 | |
| 兵庫県 | 8 | 13 | 18 | 5 | 6 | 7 | | 11 | 2 | 5 | 13 | 4 | 7 | 2 | 3 | 4 | 2 | 4 | 2 | 1 |
| 三重県 | 1 | 6 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | | | | 3 | 5 | 1 | | | | | | | |
| 近畿地方小計 | 33 | 40 | 40 | 20 | 27 | 24 | 14 | 38 | 16 | 25 | 37 | 27 | 25 | 22 | 15 | 10 | 14 | 16 | 6 | 9 |
| 島根県 | 2 | 2 | 1 | 3 | | | 1 | 2 | 2 | 3 | 7 | | 2 | 5 | 5 | | | | | |
| 鳥取県 | | 1 | | | 2 | 2 | 2 | 3 | | 1 | 1 | | | | | 3 | | | | |
| 岡山県 | 1 | 6 | 6 | 4 | 2 | 3 | | 4 | 4 | 7 | 2 | 2 | | 2 | 3 | | | 2 | 1 | 1 |
| 広島県 | 12 | 3 | 3 | 5 | 3 | 2 | 6 | 5 | 2 | 2 | 4 | 4 | 8 | 3 | | 1 | | 4 | 1 | |
| 山口県 | 2 | 4 | 7 | 2 | 5 | 7 | | 1 | | 5 | 1 | 2 | 3 | | | | 1 | 1 | | 2 |
| 中国地方小計 | 17 | 16 | 17 | 14 | 12 | 14 | 9 | 15 | 8 | 18 | 15 | 8 | 13 | 10 | 8 | 4 | 1 | 7 | 2 | 3 |
| 香川県 | 1 | 2 | | | 2 | | 2 | 2 | 2 | | | 2 | 3 | 2 | | 1 | | 1 | | 2 |
| 徳島県 | 1 | 1 | 3 | | 3 | | | 6 | 1 | | | | 1 | | | | | 1 | | |
| 高知県 | | 2 | | 4 | 5 | | 8 | 1 | 2 | | 3 | 2 | | | 1 | | | 1 | | 1 |
| 愛媛県 | 2 | 0 | 2 | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 4 | | | | 4 | | | | 1 | |
| 四国地方小計 | 4 | 5 | 5 | 4 | 12 | 2 | 12 | 11 | 7 | 3 | 7 | 4 | 4 | 2 | 5 | 1 | 0 | 3 | 1 | 3 |
| 福岡県 | 9 | 10 | 11 | 8 | 4 | 6 | 5 | 7 | | 9 | 14 | 10 | 5 | 4 | 6 | 6 | | 1 | 3 | 4 |
| 佐賀県 | | | 2 | | | 1 | 2 | | | | 4 | | 2 | | | | | 1 | | 1 |
| 長崎県 | 4 | 1 | 1 | 5 | | 2 | 2 | 6 | 6 | 2 | | 7 | 4 | | | | | | 1 | 1 |
| 熊本県 | 2 | 2 | 5 | 9 | 1 | 3 | 3 | 6 | 1 | 3 | 3 | 1 | 4 | | | 1 | | | 1 | 3 |
| 大分県 | | 5 | 1 | 1 | 2 | 1 | 5 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 4 | | | 2 | | | 1 |
| 宮崎県 | 1 | 2 | 6 | | | 2 | 2 | | | 1 | 1 | 3 | 3 | | 2 | | 2 | | | |
| 鹿児島県 | 5 | 1 | 3 | 4 | 3 | 3 | 9 | 1 | | 8 | 7 | 2 | 1 | | | 1 | | | 5 | 3 |
| 沖縄県 | | | 1 | 2 | | | 2 | 8 | 2 | 2 | | | | | | | 3 | | 2 | 2 |
| 九州／沖縄地方小計 | 21 | 21 | 30 | 29 | 10 | 18 | 30 | 30 | 11 | 27 | 31 | 24 | 21 | 8 | 8 | 8 | 7 | 2 | 12 | 15 |
| 合計 | 234 | 276 | 233 | 119 | 181 | 171 | 156 | 271 | 162 | 227 | 237 | 178 | 191 | 113 | 93 | 53 | 59 | 76 | 59 | 77 |

年度別参加者数

| No | 国名 | 1996 | 1997 | 1998 | 1999 | 2000 | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 |
|----|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 1 | バングラデシュ | 18 | 7 | | 5 | 12 | 中止 | 14 | 6 | 7 | 8 | 7 | | 6 | | 8 | 中止 | 4 | 中止 | 中止 | 中止 | | |
| 2 | ブータン | 12 | | | 6 | | 中止 | 6 | | 5 | | | | | | | 中止 | | | | | | |
| 3 | 中国 | 8 | | | | | | | 中止 | | | | | | | | | 中止 | | | | | |
| 4 | インドネシア | 17 | 6 | | 5 | | 中止 | | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | | | | | 中止 | | 中止 | | | |
| 5 | ラオス | 8 | | 16 | 12 | 6 | 中止 | 5 | 7 | 5 | | | 7 | | | | | 中止 | 中止 | 4 | 9 | 中止 | 中止 |
| 6 | マレーシア | 5 | | 5 | | | | | | | 5 | | | | | | | | | | | | |
| 7 | モルディブ | | 2 | 2 | 1 | | 中止 | | 7 | | 3 | | | | | | | 中止 | | | | | |
| 8 | モンゴル | 4 | | | | | 5 | | | | | | 6 | | | | | | | | | | 中止 |
| 9 | ネパール | 18 | 13 | 15 | 6 | | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 6 | 6 | 6 | 6 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 8 | 中止 |
| 10 | フィリピン | | 7 | | | 5 | 中止 | | 中止 | | | | | | | | | | | 中止 | | | |
| 11 | スリランカ | | 7 | 10 | 1 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 4 | 6 | | 9 | 中止 | 中止 | | 中止 | 中止 | | 中止 | 中止 | 中止 | |
| 12 | タイ | 2 | | | | | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | カンボジア | 5 | 中止 | | 8 | 2 | | | | | | | | 5 | | | 3 | 中止 | 中止 | 中止 | | | 中止 |
| 14 | ベトナム | | | | | 4 | | | | | | | | | | | | 中止 | | 中止 | | | |
| 15 | パキスタン | 4 | | | | 10 | 中止 | 中止 | | 中止 | 中止 | | | 中止 | 中止 | 中止 | | | | | | | |
| 16 | ウズベキスタン | | | | | | 8 | | | | 9 | | 8 | 6 | | | 5 | 中止 | 1 | 中止 | 中止 | | |
| 17 | キルギス | | | | | | | | 中止 | | 中止 | 4 | 1 | 8 | | 4 | 2 | 中止 | 4 | 中止 | 中止 | 中止 | |
| 18 | インド | | | | | | | | | | | | | | | | | 中止 | | | | | |
| 19 | 東ティモール | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 中止 |
| | アジア小計 | 101 | 42 | 48 | 44 | 39 | 19 | 25 | 20 | 21 | 31 | 11 | 31 | 31 | 6 | 18 | 16 | 4 | 5 | 4 | 9 | 8 | 0 |
| 20 | ヨルダン | | 6 | 3 | 8 | 2 | | 8 | 6 | 中止 | 2 | 9 | 7 | 10 | 5 | 6 | 中止 | 中止 | 4 | 中止 | 10 | 中止 | |
| 21 | モロッコ | | 5 | 6 | 13 | 8 | 中止 | 14 | 8 | 6 | 9 | | | | 7 | 中止 | 7 | 中止 | 中止 | | | 中止 | |
| 22 | シリア | 5 | 3 | 3 | 1 | 4 | 4 | 9 | 8 | 4 | 10 | 9 | 7 | 5 | | | | | | | | | |
| 23 | チュニジア | | | | | | 中止 | | | | | | | | | | 中止 | 中止 | | | | | |
| 24 | エジプト | | | 5 | | | | | | | | | | | | | | 4 | 中止 | | | | |
| 25 | イエメン | | | | | | | | | | | | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | | | | | | | |
| | 中近東小計 | 5 | 14 | 17 | 22 | 14 | 4 | 31 | 22 | 10 | 21 | 18 | 14 | 15 | 5 | 13 | 0 | 11 | 4 | 0 | 10 | 0 | 0 |
| 26 | フィジー | | | | 2 | | 中止 | | | | 7 | | 中止 | | | | | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | |
| 27 | パプアニューギニア | | | 3 | 6 | 5 | 中止 | 中止 | | 4 | | 5 | 8 | 5 | | | 中止 | 中止 | | | | | |
| 28 | トンガ | | | | 8 | | 8 | 4 | | | | 2 | | 4 | | | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | | | |
| 29 | サモア | | | | 2 | 6 | | | | | | 4 | | | | | 中止 | 中止 | | | | 中止 | |
| 30 | ソロモン諸島 | | | 3 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | | | 中止 | | | | | |
| 31 | ミクロネシア | | | | 5 | | | | | | | | | | | | | 中止 | | | | | |
| 32 | バヌアツ | | | | 1 | 2 | | | | | | | | | 5 | | | 中止 | 中止 | 中止 | | | |
| 33 | マーシャル諸島 | | | | | | | | | 4 | | | | | | | | | | | | | |
| 34 | パラオ | | | | | | | | | | | | | | | | | 中止 | | | | | |
| 35 | キリバス | | | | | | | | | | | | | | | | | 中止 | | | | | |
| | 太平洋小計 | 0 | 0 | 6 | 24 | 13 | 8 | 4 | 0 | 8 | 7 | 11 | 8 | 9 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 36 | ハンガリー | | 3 | 2 | | | | | | | | 5 | 中止 | | | | | | | | | | |
| 37 | ブルガリア | 5 | 2 | 5 | 8 | 6 | 6 | | | 4 | 4 | 6 | 7 | | | | | | | | | | |
| 38 | ポーランド | | | 1 | 1 | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 39 | ルーマニア | | | 6 | 2 | 1 | | | | | | | 5 | | | | | | | | | | |
| | 東欧小計 | 5 | 5 | 14 | 11 | 7 | 6 | 3 | 0 | 4 | 4 | 11 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| No | 国名 | 1996 | 1997 | 1998 | 1999 | 2000 | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 |
|----|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 40 | ガーナ | 4 | 3 | 8 | 7 | 12 | 6 | 7 | 12 | 6 | 12 | 12 | 19 | 17 | 21 | 12 | 9 | 11 | 中止 | 中止 | 中止 | | 4 |
| 41 | ケニア | 10 | 中止 | 5 | | 2 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 5 | 14 | 8 | 1 | 中止 | | | | |
| 42 | マラウイ | 17 | 9 | 15 | 20 | 22 | 中止 | 5 | 12 | 9 | 13 | 8 | 10 | 10 | 7 | 9 | 8 | 7 | 9 | 14 | 11 | 6 | 10 |
| 43 | ニジェール | 3 | 3 | | 14 | 19 | 中止 | 11 | 12 | 13 | 17 | 7 | 9 | 20 | 8 | 中止 | | | | | | | |
| 44 | セネガル | 1 | 8 | 5 | 4 | 16 | 中止 | 15 | 15 | | 11 | 8 | | | | 6 | 7 | 13 | 17 | 17 | 7 | 5 | 9 |
| 45 | タンザニア | 16 | 13 | 3 | 7 | | | 6 | 9 | 5 | 7 | | 11 | 10 | 13 | 10 | 11 | 12 | 4 | 9 | 10 | 中止 | 中止 |
| 46 | ザンビア | 14 | 10 | 10 | 13 | 8 | 10 | | 中止 | 中止 | 11 | 中止 | 7 | 17 | 12 | 8 | 6 | 3 | 4 | 中止 | 9 | 16 | 中止 |
| 47 | ジンバブエ | 22 | 24 | 21 | 15 | 12 | | | | 10 | 1 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | | 中止 | | | | | 中止 |
| 48 | ボツワナ | 17 | 9 | 5 | | 6 | | | 4 | 2 | 2 | | 4 | | | | | 中止 | 中止 | | | | 中止 |
| 49 | エチオピア | | 4 | 中止 | | | 中止 | 13 | | | | 中止 | 中止 | | 5 | 11 | 中止 | 中止 | 5 | 中止 | 中止 | 中止 | 7 |
| 50 | コートジボアール | 7 | 4 | 6 | | 中止 | 中止 | 中止 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 51 | ブルキナファソ | | | | | | 中止 | 7 | 5 | 15 | 7 | 4 | 4 | 10 | | 6 | | 中止 | | 中止 | 中止 | | |
| 52 | シブチ | | | | | | | | | | | | | | | | 中止 | 2 | | | | | |
| 53 | ウガンダ | | | | | | | | | | 3 | 2 | 6 | 8 | 10 | 15 | 14 | 9 | 5 | 6 | 4 | 5 | 中止 |
| 54 | 南アフリカ共和国 | | | | | | | | | | | | | | | | 中止 | 7 | 中止 | | | | 中止 |
| 55 | マダガスカル | | | | | | | | | 2 | 7 | | 7 | | | 8 | 中止 | | | | | | |
| 56 | モザンビーク | | | | | | | | | | 5 | 6 | 1 | 7 | 6 | | 2 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 7 | 中止 |
| 57 | ガボン | | | | | | | | | | | 6 | | | 9 | | 中止 | 中止 | 中止 | | | 中止 | 中止 |
| 58 | ベナン | | | | | | | | | | | 4 | 7 | | 5 | | 4 | 中止 | 中止 | 中止 | 5 | 中止 | 18 |
| 59 | ルワンダ | | | | | | | | | | | | 8 | | | 4 | 6 | 7 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 |
| 60 | ナミビア | | | | | | | | | | | | | 6 | 12 | | 中止 | 中止 | | | 中止 | 中止 | 3 |
| 61 | カメルーン | | | | | | | | | | | | | | 6 | | 中止 | 中止 | | 中止 | 中止 | | 7 |
| | アフリカ小計 | 111 | 87 | 78 | 80 | 97 | 16 | 64 | 69 | 52 | 105 | 58 | 93 | 105 | 119 | 103 | 75 | 72 | 44 | 46 | 46 | 39 | 58 |
| 62 | ボリビア | 12 | 5 | 7 | 14 | 7 | 21 | 10 | 15 | 17 | 8 | 11 | 23 | 11 | 5 | 7 | 中止 | 中止 | 中止 | 9 | 5 | 中止 | 中止 |
| 63 | コロンビア | 中止 | 中止 | 12 | 2 | 2 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | | 5 | | | 中止 | 中止 | | 中止 | | | |
| 64 | コスタリカ | 11 | 5 | 2 | 1 | | | | | 3 | 4 | 1 | | 6 | 5 | | 中止 | 中止 | | | | | 中止 |
| 65 | ドミニカ共和国 | 7 | 12 | 4 | 15 | 2 | 中止 | 5 | | 4 | 15 | 6 | 8 | 7 | | 11 | 4 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | |
| 66 | エクアドル | 8 | 9 | 11 | 11 | 9 | 5 | 8 | 4 | 2 | 8 | 2 | 1 | 3 | 6 | 8 | 6 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 |
| 67 | グアテマラ | 11 | 4 | 15 | 8 | 20 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 4 | 5 | | 7 | | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 |
| 68 | ホンジュラス | 19 | 21 | 5 | 6 | | 7 | 8 | 8 | 5 | 13 | 6 | 9 | 7 | 10 | | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 6 | 7 | 5 |
| 69 | ジャマイカ | 4 | | 1 | 3 | | | | | | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | | | | | | | |
| 70 | ニカラグア | | | 5 | 3 | 7 | 15 | 7 | | 8 | 12 | 4 | 6 | 14 | 6 | | 7 | 6 | 中止 | 中止 | 中止 | 5 | 9 |
| 71 | パナマ | 10 | | | 11 | | | | 8 | 6 | 7 | | 3 | 14 | | 3 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | | | |
| 72 | パラグアイ | 31 | 7 | 3 | 16 | 12 | 8 | 8 | 24 | 16 | 19 | 8 | 9 | | 7 | 14 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 5 |
| 73 | エルサルバドル | 1 | 13 | 4 | 2 | 2 | 9 | | 中止 | | 11 | 5 | | | | 7 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | | | |
| 74 | メキシコ | | | | | | | | | | | | | | | | 中止 | | | | | | |
| 75 | セントルシア | | | | 1 | | | 4 | | | | | 5 | | | | 1 | 中止 | | | | | |
| 76 | チリ | | | 2 | | | | 2 | 1 | | 3 | 9 | | | 4 | 中止 | 中止 | 中止 | | | | | |
| 77 | ペリース | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | | | | | 1 | 中止 | | | | | |
| 78 | セントビンセント | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | | |
| 79 | ベネズエラ | | | | | | | | | 2 | | | 5 | | | | 中止 | 中止 | | | | | |
| 80 | ドミニカ | | | | | | | | | | | | | | | | 中止 | 中止 | | | | 中止 | |
| 81 | ヘルー | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 中止 |
| | 中南米小計 | 114 | 76 | 71 | 93 | 61 | 65 | 52 | 60 | 61 | 103 | 53 | 69 | 77 | 43 | 57 | 22 | 6 | 0 | 9 | 11 | 12 | 19 |
| | 年度別累計 | 336 | 224 | 234 | 274 | 231 | 118 | 179 | 171 | 156 | 271 | 162 | 227 | 237 | 178 | 191 | 113 | 93 | 53 | 59 | 76 | 59 | 77 |